

## 平成25年白老町議会議案説明会会議録

平成25年 2月28日(木曜日)

開 会 午前10時00分

閉 会 午後 2時36分

---

### ○議事日程

1. 白老町議会定例会3月会議議案説明
- 

### ○会議に付した事件

1. 白老町議会定例会3月会議議案説明
- 

### ○出席議員(13名)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1番 氏家 裕治 君  | 2番 吉田 和子 君  |
| 3番 斎藤 征信 君  | 4番 大淵 紀夫 君  |
| 5番 松田 謙吾 君  | 7番 西田 ・子 君  |
| 9番 吉谷 一孝 君  | 10番 小西 秀延 君 |
| 11番 山田 和子 君 | 12番 本間 広朗 君 |
| 13番 前田 博之 君 | 14番 及川 保 君  |
| 15番 山本 浩平 君 |             |
- 

### ○欠席議員(2名)

- |            |            |
|------------|------------|
| 6番 坂下 利明 君 | 8番 広地 紀彰 君 |
|------------|------------|
- 

### ○説明のため出席した者の職氏名

- |           |         |
|-----------|---------|
| 総務財政部長    | 岩城 達己 君 |
| 総務課長      | 本間 勝治 君 |
| 財政税務課長    | 安達 義孝 君 |
| 企画振興部長    | 大黒 克己 君 |
| 企画政策課長    | 高橋 裕明 君 |
| アイヌ施策推進室長 | 蝦名 勝徳 君 |
| 生活福祉部長    | 須田 健一 君 |
| 町民課長      | 南 光男 君  |
| 生活環境参事    | 中村 英二 君 |
| 健康福祉課長    | 西 幹雄 君  |
| 都市整備部長    | 高 畠 章 君 |

港 湾 室 長	赤 城 雅 也 君
上 下 水 道 課 長	田 中 春 光 君
教 育 部 長	辻 昌 秀 君
学 校 給 食 セ ン タ ー 長	葛 西 吉 孝 君
子 ど も 課 長	坂 東 雄 志 君
消 防 長	前 田 登 志 和 君
病 院 事 務 長	長 澤 敏 博 君
病 院 事 務 次 長	野 宮 淳 史 君

---

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	岡 村 幸 男 君
参 事	熊 倉 博 幸 君

---

### ◎開会の宣告

○議長（山本浩平君） 昨日に引き続き、定例会3月会議の議案等に関する議案説明会を開催いたします。

（午前10時00分）

---

○議長（山本浩平君） 日程第1、議案第9号 平成25年度白老町一般会計予算の議案についてでございます。

昨日に引き続いて、10款教育費から説明をお願いいたします。

安達財政税務課長。

○財政税務課長（安達義孝君） おはようございます。ご説明申し上げます。

254ページ、10款教育費に入ります。教育費は本年度5億7,684万5,000円、前年比2,506万9,000円の減となっております。1項1目教育委員会費159万1,000円、記載のとおりとなっております。

2目事務局費705万2,000円、前年比48万円の減となっております。(1)、教育委員会事務局経費672万3,000円、旅費の見直し等で45万1,000円の減となっております。

次に、256ページ、3目財産管理費448万3,000円、(1)、教職員住宅管理経費は修繕料23万3,000円の減なので、前年比28万4,000円の減となっております。

次に、258ページ、4目指導厚生費336万8,000円、前年比50万円の減となっております。(1)、教職員研修経費104万9,000円、白老町教育研究会公開研究授業補助金の見直しなどで前年比24万1,000円の減となっております。(2)、教職員福利厚生経費231万9,000円、学校教職員の減員で25万9,000円の減となっております。

5目諸費1億6,684万1,000円、前年比1億1,989万6,000円の増となっております。(1)、私立高等学校教育補助金が運営費補助の積算の基準となっている生徒数の実績見合いなどで5万7,000円の増となっております。(2)、フッ化物洗口事業経費、24年からの事業で薬品を保存する冷蔵庫を初年度で購入したことから、これらの経費18万円などで前年比21万8,000円の減となっております。(4)、学校支援地域本部事業、学習アシスト、社会科学習授業等ボランティアを活用するためにコーディネーター1名を増員し113万9,000円の増で前年比131万3,000円の増となっております。(5)、(仮称)食育・防災センター建設事業1億5,004万9,000円、本年度から工事が着工されますが、本体工事の2割に当たる事業費を計上しております。財源は国費1億1,247万円、町債2,810万円、教育施設整備基金繰入金947万9,000円を充当しております。(8)、地域塾開講事業24万6,000円、昨年からの継続事業です。先ほど説明した学校支援地域本部事業と連携した取り組みで、子供たちの学習向上と地域社会のつながりを体感させるための経費として前年比12万2,000円の増となっております。(9)、(仮称)教師塾開講事業100万円、教師の指導力向上と自己啓発を目的に研修講座を開催する経費で新規事業となります。

次に、264 ページ、2 項小学校費 1 億 66 万 4,000 円、前年比 3,148 万 4,000 円の減となっております。これは小学校 6 校分の運営費を計上しております。1 目学校管理費 7,693 万 9,000 円、前年比 3,465 万 8,000 円の減となっております。(1)、小学校運営経費 1,311 万円、各小学校に消防用設備の更新のため消火器を購入する費用として前年比 60 万 6,000 円の増となっております。(3)、小学校施設管理経費 6,141 万 4,000 円、AED 消耗品 22 万 5,000 円、燃料費 317 万 1,000 円、光熱水費 269 万 5,000 円の増などから前年比 440 万 4,000 円の増となっております。なお、昨年計上いたしました小学校耐震化対策事業及びスクールバス運行経費は終了し、新たに小学校校外学習事業費に計上しております。

2 目教育振興費 2,372 万 5,000 円、前年比 317 万 6,000 円の増となっております。(1)、小学校教育振興一般経費 654 万 1,000 円、各学校の図書備品 60 万 5,000 円の減、教材備品 34 万 5,000 円の増などで前年比 33 万 2,000 円の減となっております。(3) 小学校就学援助、特別支援教育就学奨励事業経費 1,212 万 6,000 円、要・準要保護及び特別支援対象者の実績見込みにより前年比 57 万円の減となっております。(4)、小学校校外学習事業経費 474 万 5,000 円、既存のバスを統廃合する中学校に使用することから、校外学習については民間バスの借り上げを計上するものであります。(5)、小学校姉妹校交流推進事業経費、白老小学校が仙台市片平町と隔年で交流していることから 13 万 4,000 円の減となっております。

3 項中学校費 7,329 万 9,000 円、前年比 1 億 895 万 9,000 円の減となっております。これについては中学校 2 校の運営経費を計上しております。1 目学校管理費 5,665 万 8,000 円、前年比 7,193 万円の減となっております。(1)、中学校運営経費 587 万 1,000 円、3 校の統廃合によって給食補助員 2 名の削減などで前年比 212 万円の減となっております。(3)、中学校施設管理経費 3,114 万 5,000 円、統廃合によって燃料費、光熱費等の減などで、前年比 1,116 万 2,000 円の減となっております。(4)、スクールバス運行経費 1,382 万 1,000 円、虎杖浜地区、竹浦地区から白翔中学校への登下校の運行経費で運転業務、車両管理業務を委託する経費でございます。(5)、三中学校統合備品更新事業 451 万 2,000 円、統廃合によって継続使用する備品の移設費用、新中学校の校歌作成等に対する経費を計上しております。(6)、白翔中学校開校記念式典挙行事業 30 万円、三中学校を統廃合し、新たな中学校として白翔中学校が本年 4 月から開校することから、開校記念式典を挙げるために補助金を交付するものであります。なお、昨年計上した三中学校閉校式典挙行事業は終了しております。

次に、2 目教育振興費 1,664 万 1,000 円、前年比 3,702 万 9,000 円の減となっております。(1)、中学校教育振興一般経費 357 万 2,000 円、図書備品、教材備品等 90 万 9,000 円の減などで前年比 87 万 1,000 円の減となっております。(2)、中学校遠距離通学支援経費 47 万 3,000 円、対象生徒の減少などで前年比 6 万 7,000 円の減となっております。(5)、中学校就学援助、特別支援教育就学奨励事業 1,140 万 5,000 円、要・準要保護及び特別支援対象者を実績見込みにより前年比 7 万 7,000 円の増となっております。(8)、剣道防具等整備事業経費 14 万 7,000 円、新学習要綱により今年度も剣道防具を購入するための経費で前年比 15 万 4,000 円の減となっております。なお、昨年計上した中学校校外学習事業経費及びスクールバス事業は終了して

おります。

次に、4項1目幼稚園費 973万1,000円、前年比 54万1,000円の減となっております。(1)、幼稚園就園費補助金 853万1,000円、入園児童数の実績見込みなどで前年比 46万9,000円の減となっております。(2)、幼稚園運営費補助金 120万円、私立幼稚園の入園児童数の実績見込みなどで前年比 7万2,000円の減となっております。

次に、5項1目社会教育総務費 1,727万2,000円、前年比 116万5,000円の減となっております。(4)、みんなの基金事業経費は継続事業です。みんなの基金 200万円を繰り入れするものであります。(5)、芸術文化活動運営経費 175万8,000円、文化団体連絡協議会補助金の見直しなどで 13万円の減であります。財源は文化振興基金 127万8,000円を全額充当しております。なお、生涯学習推進経費及びふるさと体験館森野施設管理経費は終了しております。

次に、284ページ、2目公民館費 2,900万3,000円、前年比 63万4,000円の減となっております。(1)、公民館管理運営経費 2,793万9,000円、臨時職員の削減などから前年比 169万8,000円の減となっております。(2)、中央公民館講堂資機材搬入口改修事業 106万4,000円、講堂東側入り口のドアが腐食によって落下の危険性があることから改修を行います。財源は特定防衛施設周辺整備調整交付金 90万円を充当いたします。

次に、3目図書館費 1,100万8,000円、前年比 128万8,000円の減となっております。(1)、図書館運営経費 770万3,000円、図書館利用者カード作成で前年比 33万1,000円の増となっております。(2)、図書等購入経費 279万1,000円、図書購入費を削減するなど 50万円の減となっております。(3)、移動図書館活動経費 37万2,000円、移動図書館バスの臨時運転手、修繕等見直しで前年比 106万7,000円の減となっております。

次に、4目文化財保護費 250万2,000円、前年比 32万1,000円の減となっております。(2)、文化財施設管理経費 216万円、施設内樹木管理業務 9万5,000円の減で前年比 27万2,000円の減となっております。

5目仙台藩白老元陣屋資料館管理費 568万4,000円、前年比 44万2,000円の減となっております。(1)、資料館運営経費 557万円、消耗品の見直しなどから前年比 22万1,000円の減となっております。なお、昨年計上した資料館特別展開催事業は終了しております。

次に、292ページ、6目高齢者学習センター費 311万3,000円、前年比 20万3,000円の減となっております。(2)、高齢者教室事業経費 85万6,000円、講師謝礼などの見直しで前年比 16万9,000円の減となっております。

7目青少年センター費 56万3,000円、前年比 6万1,000円の減で記載のとおりとなっております。

6項保健体育費 7,997万4,000円、前年比 31万8,000円の増となっております。1目保健体育総務費 1,370万7,000円、前年比 92万5,000円の減となっております。(2)、スポーツ指導者普及事業経費 91万1,000円、スポーツ推進員の報酬減などで前年比 17万8,000円の減となっております。(3)、体育協会運営経費 1,227万7,000円、体育協会への補助金の見直しなどで前年比 76万4,000円の減となっております。

次に、298 ページ、2 目体育施設費 6,626 万 7,000 円、前年比 124 万 3,000 円の増となっております。(1)、体育施設維持管理経費 130 万円、総合体育館消火栓ホース更新、老朽化対策施設修繕等などから前年比 28 万 5,000 円の増となっております。(2)、体育施設指定管理経費 6,429 万 4,000 円、陸上競技場の芝生管理を隔年に実施していることなどで前年比 194 万 7,000 円の増となっております。(3)、はまなすスポーツセンター地下消火栓ポンプ改修事業 67 万 3,000 円、老朽化し耐用年数が過ぎているポンプ本体を交換する経費として計上しております。なお、財源は特定防衛施設周辺整備調整交付金 60 万円を充当しております。昨年計上いたしました総合体育館ステージ上部壁面改修工事は終了しております。

7 項 1 目給食センター管理運営費 6,069 万 7,000 円、前年比 108 万 2,000 円の増となっております。(2)、給食センター運営経費 5,725 万円、燃料費の高騰による 138 万 7,000 円の増などで前年比 112 万 8,000 円の増となっております。

次に、304 ページ、11 款災害復旧費 5 万円、科目存置のための計上となっております。

次に、306 ページ、12 款公債費、1 項 1 目元金 17 億 1,144 万 4,000 円、前年比 1,717 万円の減となっております。(1)、長期債元金償還金、過去に借り入れた元利均等の元金が償還ピークを越えたことから減少となっております。

2 目利子 2 億 1,788 万 7,000 円、前年比 4,755 万 4,000 円の減となっております。(1)、長期債利子支払費 2 億 1,537 万 8,000 円、償還ピークを越えたことに伴い、前年比 4,750 万 9,000 円の減となっております。(3)、基金繰替運用利子支払費 50 万 9,000 円、残高 3 億 4,000 万円に対する利子の計上です。定期預金利率に合わせた金利で、前年比 4 万 5,000 円の減となっております。

次に、308 ページ、13 款給与費 18 億 1,601 万 6,000 円、前年比 1 億 2,401 万 3,000 円の減となっております。特別職 2 名、教育長を含む一般職 202 名、特定嘱託 5 名、嘱託職員 34 名、計 243 名分の人件費を計上しております。また、本年度から北海道から 1 名の派遣職員を招きますが、その経費として負担金 1,100 万円を計上しております。嘱託職員を除いた正職員分の給与費は 17 億 3,205 万 6,000 円、前年比 1 億 2,042 万円の減で、本年 4 月 1 日から給与削減を実施することでの減となります。嘱託職員の今年度計上額は 8,396 万円です。前年比 359 万 3,000 円の減は 1 名の減による減額でございます。財源ですが、特定財源の合計は 6,965 万 2,000 円、前年比 357 万 1,000 円の減となっております。一般財源ベースでも前年比 1 億 2,758 万 4,000 円の減となっております。

次に、311 ページ、14 款諸支出金 5,378 万円、前年比 872 万 6,000 円の増となっております。繰り替え運用の繰り戻し分は、みんなの基金積立金 2,000 万円、都市公園づくり基金積立金 1,000 万円を計上しております。基金から平成 10 年度に繰り戻し、繰り替え運用をした総額が 9 億 2,000 万円に対し、繰り戻しの累計額は 24 年度末で 6 億 1,000 万円となります。したがって 25 年度末の残高は 3 億 1,000 万円となります。

次に、312 ページ、15 款予備費 605 万円、前年比 98 万 5,000 円の減となっております。

次に、315 ページ以降、給与費明細書、地方債現在高見込額調書、債務負担行為に関する調

書につきましては記載のとおりであります。例年、説明を省略させていただいております。

これで歳出の説明を終わらせていただきます。

続いて歳入の説明に入ります。14 ページにお戻りください。1 款町税 23 億 2,852 万 4,000 円、前年比 8,747 万 5,000 円、3.6%の減となっております。1 項 1 目個人、1 節現年課税分 5 億 7,247 万 6,000 円、前年比 4,059 万 4,000 円、6.6%の減となっております。収納率は特別徴収分 99.76%、普通徴収分 94.22%を見込み、税制改正がないため、景気低迷の影響で 3.6%減収の計上をしております。2 節滞納繰越分 615 万 8,000 円、前年比 119 万 6,000 円、16.3%の減となっております。徴収率は例年どおりの 8.9%を見込んで計上させていただいております。

次に、2 目法人、1 節現年課税分 1 億 2,582 万 6,000 円、前年比 119 万 6,000 円、11.5%の増となっております。24 年度の決算見込みを踏まえながら増額見込みであり、収納率は前年を上回る 99.6%として計上しております。2 節滞納繰越分 30 万 5,000 円、前年比 1 万円、3.4%の増で前年同様の収納率を見込んでおります。

次に、2 項 1 目固定資産税、1 節現年課税分 13 億 7,740 万 4,000 円、前年比 7,266 万 6,000 円、5.6%の減となっております。本年度については評価がえがない年でございます。土地については増減がなく、家屋の新築分の増加を見込み、償却試算は新規設備投資のないことから減収も余儀なくされております。収納率は前年より 0.4%低い 97.1%を見込んでおります。2 節滞納繰越分 1,228 万 6,000 円、前年比 2,000 万円、0.1%の増で、収納率は前年より 0.5%低い 6%を見込んでおります。

2 目国有資産等所在市町村交付金、1 節現年課税分 734 万円、前年比 27 万 4,000 円、3.9%の増で町内に所在の国、道などの収益性のある資産に係る固定資産相当分を計上しております。

3 項 1 目軽自動車税、1 節現年課税分 2,577 万 2,000 円、前年比 28 万円、1.1%の減となっております。例年、軽自動車の保有台数が増加傾向にありましたが、実績見込みで減額を計上しております。収納率は前年よりも 0.19%低い 94.81%を見込んでおります。2 節滞納繰越分 52 万 3,000 円、前年比 6 万 3,000 円、13.7%の増で収納率は前年同様 10%を見込んでおります。

次に、4 項 1 目町たばこ税、1 節現年課税分 1 億 8,628 万 3,000 円、前年比 1,524 万 6,000 円、8.9%の増で、平成 25 年 4 月から北海道の税源移譲で旧 3 級品たばこの単価が 4,618 円から 5,262 円へ変更、旧 3 級品以外が 2,190 円から 2,495 円に値上げされることによる見込み計上でございます。

5 項 1 目特別土地保有税、1 節滞納繰越分 1,000 円、前年同様、科目存置でございます。

6 項 1 目入湯税、1 節現年課税分 1,415 万円、前年比 121 万 2,000 円、7.9%の減で、一般日帰り等の入浴客実績を見込み計上しました。収納率は前年同様 100%を見込んでおります。

20 ページ、2 款地方譲与税 1 億 3,540 万円、前年比 1,650 万円の減となっております。地方譲与税は法令で定められて配分されており、以下の各項について平成 24 年度の決算見込みと地方財政計画を参考に計上しております。

1 項 1 目地方揮発油譲与税、1 節地方揮発油譲与税 4,150 万円、前年比 420 万円、9.2%の減となっております。

2 項 1 目自動車重量譲与税、1 節自動車重量譲与税 9,390 万円、前年比 1,230 万円、11.6% の減で自動車重量税の一部を譲与するものであります。

22 ページ、3 款 1 項 1 目利子割交付金 470 万円、前年比 50 万円、9.6% の減で北海道の利子割収入の一定割合が交付されるものでございます。

次に、24 ページ、4 款 1 項 1 目配当割交付金 230 万円、前年比 40 万円、21% の増で平成 24 年度決算見込額を参考に見込んでおります。

26 ページ、5 款 1 項 1 目株式等譲渡所得割交付金 30 万円、前年比 20 万円、40% の減で、これについても平成 24 年度の決算見込みを参考に計上しております。

28 ページ、6 款 1 項 1 目地方消費税交付金 1 億 9,460 万円、前年比 730 万円、3.6% の減、北海道で清算して 2 分の 1 相当額を人口割、従業者数割を按分して交付されるものであります。これについても平成 24 年度決算見込みを勘案しながら計上しております。

30 ページ、7 款 1 項 1 目ゴルフ場利用税交付金 440 万円、前年比 60 万円、12% の減でゴルフ場所在の市町村に対し都道府県が収納した利用税額の 10 分の 7 に相当する額を都道府県から市町村に交付するものでございます。これについても平成 24 年度実績見込みを勘案しながら計上しております。

32 ページ、8 款 1 項 1 目自動車取得税交付金 2,670 万円、前年比 120 万円、4.7% の増で都道府県の自動車取得税収入額のうち 70% に道路延長、道路面積で按分されたものが市町村に交付されるものでございます。

34 ページ、9 款 1 項 1 目国有提供施設等所在町助成交付金 3,300 万円、前年比 500 万円、13.2% の減で自衛隊基地の施設のうち法令の定めのある固定資産が所在する市町村に国の予算の範囲内で交付されるもので、実績見込みを計上しております。

36 ページ、10 款 1 項 1 目地方特例交付金 360 万円、前年比 480 万円、57.1% の減で個人住民税における住宅借入等特別控除の実施に伴う減収補てんのための交付金でございます。

38 ページ、11 款 1 項 1 目地方交付税 37 億 6,000 万円、前年比 2 億円、5.1% の減であります。普通交付税については国家公務員が復興対策財源として給与削減したことで地方公務員給与との給与差額が生じ、ラスパイレス指数が 100 を超える市町村に対し普通交付税を削減とする地方財政計画が国のほうから発表され、内容では 6 年ぶりとなる交付税が削減されることになっております。本町の給与費については 4 月から平均 9.5% の削減を実施することから、影響については現段階では算出できない状況ではございますが、このことを踏まえながら普通交付税は 34 億 2,000 万円、前年比 1 億 8,000 万円、5% の減。特別交付税は 3 億 4,000 万円、前年比 2,000 万円の減、5.6% の減としております。

40 ページ、12 款 1 項 1 目交通安全対策特別交付金 300 万円、前年比 30 万円、9.1% の減で交通反則通告制度による反則金の収入相当額から事務費を控除した金額を都道府県から市町村に交付されるものでございます。

42 ページ、13 款分担金及び負担金 5,740 万 4,000 円、前年比 290 万 6,000 円、4.8% の減となっております。1 項 1 目民生費負担金、1 節社会福祉費負担金 582 万 2,000 円、前年比 93



万7,000円、18.1%の増となっております。老人福祉施設入所者措置費支弁事業負担金（現年分）前年比67万円の増、在宅障害者配食サービス事業負担金（現年分）前年比18万3,000円の増を見込んでおります。2節児童福祉費負担金4,982万2,000円、前年比373万5,000円、7%の減で、保育料前年比363万6,000円、7%の減、入園児の減少などを見込んでおります。

次に、2目教育費負担金、1節社会教育費負担金176万円、前年比10万8,000円、5.8%の減で、放課後児童クラブ負担金（現年分）10万8,000円、5.8%の減を見込んでおります。

44ページ、14款使用料及び手数料2億6,294万8,000円、前年比198万7,000円、0.7%の減となっておりますが、公共施設の利用や行政サービスなどの費用を賄うために徴収する経費となっております。1項1目総務使用料64万2,000円、記載のとおりとなっております。

2目民生使用料、1節地域福祉館使用料129万5,000円、前年比9万8,000円、7%の減となっております。2節民生施設使用料772万4,000円、前年比122万3,000円、13.7%の減で、総合保健福祉センター使用料40万8,000円の減、総合保健福祉センター研修室使用料15万6,000円及びデイサービスセンター使用料93万5,000円の減を見込んで計上しております。

46ページ、4目農林水産業使用料308万1,000円、前年比34万9,000円、10.2%の減となっております。1節牧野使用料244万1,000円、前年比32万9,000円、11.9%の減、放牧頭数の実績見込みで計上しております。

48ページ、6目土木使用料、3節港湾施設使用料1,721万4,000円、前年比113万円、7%の増、けい留施設使用料等を実績見込みで計上し、前年比150万円の増を見込んでおります。5節住宅使用料1億1,823万5,000円、前年比60万6,000円、0.5%の減、町営住宅使用料219万5,000円の減については入居者の減少及び所得の減少等の事由で見込んでおります。町有住宅については管理戸数を満たす入居状況になったことから前年比220万5,000円の増を見込んでおります。

次に、8目教育使用料504万6,000円、前年比32万6,000円の減となっております。

50ページ、2項手数料7,895万2,000円、前年比85万6,000円、1.1%の減となっております。1目総務手数料1,132万7,000円、前年比27万円、2.3%の減、実績見合いで計上しております。

2目環境衛生手数料6,590万5,000円、前年比9万9,000円、0.1%の減、実績見合いで計上しております。

54ページ、15款国庫支出金6億8,736万3,000円、前年比3,968万5,000円、6.1%の増となっております。歳出で説明した事務事業に係る国の負担金、補助金、委託金で、前年度と比較して増減の大きいものを説明させていただきます。1項1目民生費国庫負担金4億4,793万9,000円、前年比820万1,000円の減となっております。1節社会福祉費負担金2億4,111万2,000円、前年比1,865万7,000円、障害者医療費負担金（更生医療分）前年比415万2,000円、障害者自立支援給付費負担金（居宅介護）前年比383万6,000円が増加し、障害者自立支援給付費負担金（施設訓練）前年比2,170万6,000円、障害者自立支援給付費負担金（生活介護）前年比1,644万3,000円が減少しており、実績見合いで計上させていただきました。また、

新規に障害者自立支援給付費負担金（障害者療養介護医療費）326万8,000円、障害者自立支援給付費負担金（障害者療養介護給付費）1,059万1,000円は北海道からの権限委譲で、18歳以上の施設入所者の医療費及び療養介護に給付するものであります。また、障害者医療費負担金（育成医療）30万円は障がい者の身体の疾病を取り除く手術に係る経費を給付するものでありますとともに、平成25年4月からの給付となります。56ページ、2節児童手当負担金1億4,918万円、前年比454万円の増、昨年子ども手当から児童手当に制度改正され、児童手当が10カ月分から1年分に計上されたことによる増加分でございます。3節児童福祉費負担金4,774万円、前年比242万1,000円の減、入園児児童の減少によるものであります。

2目環境衛生費国庫負担金、1節保健衛生費負担金55万2,000円、北海道からの権限委譲で未熟児医療の給付医療に係るものでございます。

次に、2項国庫補助金2億3,161万2,000円、前年比4,680万円の増となっております。1目総務費国庫補助金、1節辺地共聴施設整備事業補助金1,637万円、飛生地区の地上デジタル放送難視聴対策事業補助を受けるものであります。

2目民生費国庫補助金3,135万4,000円、前年比1,733万9,000円の増となっております。1節身体障害者福祉費補助金のうち地域生活支援事業補助金546万1,000円、前年比167万8,000円の増は日中一時支援事業及び日常生活用具等給付対象者の増加によるものでございます。2節児童福祉費補助金1,134万4,000円、前年比173万1,000円の増は実績見込みなどで計上させていただきました。3節社会福祉費補助金1,400万円は新規事業の社台南13号通り改良舗装事業の計上となっております。

3目環境衛生費国庫補助金、1節保健衛生費補助金162万1,000円、前年比83万3,000円の減、がん検診受診者の検診の実績見合いで計上させていただきました。

4目土木費国庫補助金3,989万5,000円、前年比5,805万円の減となっております。1節道路橋梁費補助金3,198万円、前年比5,347万円の減で竹浦2番通り改良舗装事業、ポロト社台線改良舗装事業の事業の減少及び昨年計上した白老滑空場線改良舗装事業が未計上となったことでの減でございます。なお、昨年計上した公園費補助金、社会資本整備交付金は未計上としております。

58ページ、5目教育費国庫補助金331万6,000円、前年比3,990万9,000円の減となっております。1節教育総務費補助金80万2,000円、前年比2,388万1,000円の減、（仮称）食育推進センター建設事業を振り替えたことによる減となっております。3節中学校費補助金36万3,000円、前年比1,600万2,000円の減、学校施設環境改善交付金の未計上などから減額となっております。

6目特定防衛施設周辺整備調整交付金2,600万円、公共施設サイン設置事業ほか、記載の6事業に充当し残額の950万円は基金に積立てる計上となっております。

7目循環型社会形成推進交付金、1節浄化槽設置整備事業交付金58万6,000円、前年比58万7,000円の減については、昨年9基の補助から今年度5基にしたものでの減でございます。

8目防衛施設周辺対策事業補助金1億1,247万円、新規（仮称）食育・防災センター建設事

業の4分の3の交付の計上でございます。

次に、3項委託金726万円、前年比53万4,000円の増で記載のとおりとなっております。

62ページ、16款道支出金4億2,949万2,000円、前年比398万2,000円の増となっております。国庫支出金と同様に歳出で説明した事務事業に係る道の負担金、補助金、委託金、新年度と比較いたしまして増減の大きいものを説明させていただきます。1項1目民生費道負担金、1節社会福祉費負担金1億2,056万2,000円、前年比932万9,000円の増、障害者医療給付負担金（更生医療）前年比207万6,000円、障害者自立支援給付費負担金（生活介護）前年比822万2,000円、障害者自立支援給付費負担金（居宅介護）前年比191万8,000円が増額し、障害者自立支援給付費負担金（施設訓練）前年比985万3,000円が減少しており、実績見合いで計上させていただきました。また、新規に障害者自立支援給付費負担金（障害者療養介護医療費）163万4,000円、障害者自立支援給付費負担金（障害者療養介護給付費）529万5,000円は北海道からの権限委譲です。先ほどご説明しましたが、18歳以上の施設入所者の医療及び療養給付の介護費に給付するものでございます。また、障害者医療費負担金（育成医療）15万円は障がい者の身体の疾病を取り除く手術に係る経費を給付するものであります。ともに25年4月からの給付でございます。2節老人福祉費負担金4,933万5,000円、前年比194万4,000円の増は後期高齢者医療対象者の所得の減少による軽減額の増加によるものでございます。3節児童手当負担金3,341万円、前年比1,069万8,000円の増、児童手当支給額を1年分の計上にしたことによる増額でございます。4節児童福祉費負担金2,387万円、前年比121万円の減、保育所入所児童の減によるものでございます。5節保険基盤安定等負担金6,571万3,000円、前年比125万6,000円の減、実績見込みの計上でございます。

2目環境衛生費道費負担金、1節保健衛生費負担金27万6,000円は北海道からの権限委譲で未熟児に対する医療給付に係るものでございます。

2項2目民生費道補助金6,105万1,000円、前年比551万円の減となっております。1節社会福祉費補助金1,198万4,000円、前年比213万8,000円の減、消費者行政活性化事業が未計上であったことによるものでございます。3節身体障害者福祉費補助金273万円、前年比83万9,000円、日中一時支援事業及び日常生活用具対象者の増加によるものであります。4節重度心身障害者医療費補助金2,691万3,000円、前年比280万円の増は対象者の医療費実績見合いから計上いたしました。6節ひとり親家庭等医療費補助金408万6,000円、前年比116万3,000円の減、対象者の医療費実績見合いから計上いたしました。7節児童福祉費補助金、安心子ども基金事業補助金7万7,000円、前年比608万円の減、子ども手当から児童手当給付支給システムの経費を未計上にしたことによるものでございます。

3目1節保健衛生費補助金55万8,000円、前年比1,027万8,000円の減、妊婦健康診査臨時交付金、ヒブ予防接種事業、小児肺炎球菌予防接種事業、子宮頸がん予防接種事業については、今年度から一般財源になっていることから未計上となっております。

4目農林水産業費道補助金1,018万6,000円、前年比155万5,000円の減であります。2節林業費補助金394万4,000円、前年比117万6,000円の減、未来につなぐ森づくり推進事業の

事業量の減に減でございます。

5目1節消防費道補助金120万円、前年比110万円の減、地域づくり総合交付金の減によるものであります。

7目石油貯蔵施設立地対策等交付金1,218万6,000円、石油貯蔵施設立地対策基金に全額積立てるものでございます。

8目1節雇用創出事業補助金835万8,000円、前年比532万5,000円の減、重点分野雇用創出事業の減となっております。

次に、3項委託費4,192万3,000円、前年比1,208万7,000円の増となっております。1目総務費委託金、4節統計調査費委託金は、漁業センサス調査委託金122万円、住宅・土地統計調査委託金182万7,000円が新規に計上されております。71ページ、5節選挙費委託金974万5,000円、前年比897万5,000円の増、参議院議員選挙事務委託金が計上されたことによるものでございます。

72ページ、17款財産収入1億2,885万3,000円、前年比1,778万5,000円の増となっております。1項1目1節土地建物貸付収入4,556万1,000円、前年比863万円の増、工業団地用地貸付収入、メガソーラー用地として558万6,000円、光ネットワーク回線使用料は利用者の増で352万8,000円が徴収され、町有地住宅貸付料は教員住宅の貸付の減から75万7,000円が減収となっております。

74ページ、2項1目不動産売却収入、1節土地売却収入3,961万9,000円、前年比961万7,000円の増、一般の売払い1,200万4,000円と子育て支援2,761万3,000円を計上しております。

○議長（山本浩平君） 暫時休憩いたします。

休憩 午前10時59分

---

再開 午前11時09分

○議長（山本浩平君） 休憩を閉じて議案説明を続行いたします。

安達財政税務課長。

○財政税務課長（安達義孝君） 78ページ、19款繰入金2億5,538万2,000円、前年比4,125万9,000円の増となっております。歳出に計上している事業に係る特定財源として各基金から繰り入れしますが、1目から次の8目までは歳出で説明して該当した事務事業に充当するものでございます。

80ページ、9目1節他会計繰入金2億2,000万円、一般会計の歳出予算に充当する歳入予算が不足するために水道事業特別会計から長期借入れし、収支の均衡を図るために行うための計上でございます。

82ページ、20款繰越金、前年度の決算余剰金を3,000万円と見込み、その2分の1の1,500万円を繰越金として計上するものでございます。

84ページ、21款諸収入1億9,073万4,000円、前年比2,454万3,000円の減となっております。

3 項貸付金元利収入、5 目 1 節中小企業振興資金貸付金元利収入 8,800 万円、前年比 1,200 万円の減、中小企業振興資金の貸付実績見合いなどから計上しております。

86 ページ、4 項受託事業収入、1 目 1 節社会福祉費受託事業収入 2,085 万 2,000 円、前年比 142 万円の減、イオル再生事業受託事業収入が減となったことでの計上でございます。2 節児童福祉費受託事業収入 403 万 2,000 円、前年比 189 万 9,000 円の減、保育所広域入所者の実績見込みなどから計上しております。

2 目 1 節後期高齢者医療広域連合受託事業収入 369 万 6,000 円、前年比 169 万 3,000 円の増、特定健診事業の増加によるものでございます。

5 項雑入、4 目 1 節高額医療費保険者納入金 1,642 万 7,000 円、前年比 710 万 8,000 円の減、重度心身障がい者の実績見合いなどから減となっております。

94 ページ、22 款町債 6 億 8,620 万円、前年比 8,120 万円の減となっております。歳出に計上していた事業の特定財源として借り入れます。1 項町債、1 目 1 節総務債 490 万円、飛生地区に地上デジタル放送難視聴対策事業を新規に計上するものでございます。

2 目 1 節道路橋梁債 2,720 万円、前年比 3,830 万円の減、竹浦 2 番通り、ポロト社台線の事業量減及び社台南 13 号通りを新設事業として計上しております。3 節港湾費 1 億 7,910 万円、前年比 1,530 万円の減となっております。

4 目臨時財政対策債 4 億 3,400 万円、前年比 1,400 万円の増、町財政計画をもとに算出計上いたしました。

以上で歳入、歳出について説明を終わらせていただきます。

次に、予算の概要などの資料について説明させていただきます。平成 25 年度一般会計説明資料であります。最初に、平成 25 年度白老町予算概要について説明いたします。

予算の概要 1 ページは、平成 25 年度白老町各会計予算総括表であります。全会計の予算額が前年対比で記載されております。最初に一般会計、次に特別会計 9 会計と企業会計 2 会計、その下に総合計が記載されております。全会計で 178 億 7,761 万 6,000 円、前年比 4 億 5,305 万 5,000 円、2.5%の減であります。その総額につきましては、近年 10 カ月で 8 番目に少ない金額となっております。

下の欄は一般会計から各会計への繰出金であります。総額 16 億 846 万 8,000 円、前年比 9,403 万 7,000 円、6.2%の増でございます。

2 ページから目的別、性質別集計表を載せておりますが記載のとおりでございます。そのほか 7 ページから経常費における特記事項、21 ページから補助金の主なもの、23 ページから事業費の概要が載っております。内容については予算書で説明申し上げましたので省略いたします。

予算の概要の最後のページ、30 ページであります。各会計の事業会計ごとの内訳を記載しております。合計額が 10 億 6,739 万 2,000 円、前年比 3 億 9,062 万 8,000 円、26.8%の減であります。

次に、平成 25 年度白老町一般会計予算説明資料について説明申し上げます。1 ページ、1、平成 25 年度一般会計予算の概要（前年度比較）であります。一般会計予算の主な内訳の前年

対比の数値を載せてあります。予算総額は、これまでの説明のとおり前年対比で3億3,900万円、3.6%の減となっております。歳入では、主なものとして、町税は住民税の落ち込みと固定資産税の償却資産の減収などから8,747万5,000円の減、地方交付税は国家公務員の平均7.8%の給与削減措置に伴う地方交付税の減額などから2億円の減、歳入歳出収支不足を解消するために水道特別会計から長期に借入れする2億2,000万円の増、公債費負担適正化対策による町債借入れによる町債の8,120万円の減となっております。歳出では給与費が平均9.5%の減などで1億2,401万1,000円の減、繰出金は下水道会計、町立病院会計、港湾機能会計等に繰り出す繰出金の増加から9,403万7,000円の増、一般行政経費は臨時職員の削減、事務事業費の削減で1億4,705万4,000円の減となっております。

次に、2、財源不足とその補てん財源、先ほど説明しておりますが水道特別会計からの長期借入れとなっております。

2ページ、3、一般会計歳入の一般財源を記載した前年との比較表でございます。歳入一般財源の合計の前年比3億734万4,000円、4.1%の減であります。

3ページ、4、一般会計歳出の表でございますが、経常経費と事業費に分け、それぞれ前年対比の増減を載せてあります。経常経費全体の増減は2億3,401万3,000円の減でございますが、歳出の経常経費に要する一般財源ベースでは1億8,867万4,000円の減でございます。この内訳につきましては給与費、公債費、一般行政経費が減、繰出金が増となっております。事業費については総額で1億498万7,000円の減でございますが、一般財源ベースでは461万8,000円の減となっております。このことについては、補助事業を中心に事業編成をしたものであります。

4ページ、5、一般会計経常経費のうち、一般行政経費の主な増減を示した表であります。この増減分は、主な内訳としては増加分と増減分それぞれ8項目を記載しており、記載のとおりでございます。

5ページ、6、平成25年度事業費総括表で補助、単独別さらに新規、継続別に財源内訳を載せた前年度当初予算の比較表であります。本年度は計56事業、うち新規事業が17事業となっております。前年度より16事業の減、新規は17事業の減となっております。

6ページ、7、一般会計事業費の主な増減表でございますが、これにつきましても前年予算との比較であり、記載のとおりでありますので説明は省略させていただきます。

7ページから8ページ、8、平成25年度事業費予算における主な新規事業を款ごとに記載しており、これにつきましても説明を省略させていただきます。

9ページ、9、平成25年度基金現在高見込でございますが、上段は一般会計分の財政調整基金、町債管理基金と教育関係施設整備基金、以降の特定目的基金が17基金及び中段の特別会計分が4基金、1番下の備荒資金組合普通納付分、超過納付分のそれぞれの積立金、取崩額、そして各年度の年度末の残高を載せております。平成24年度の決算見込額は、昨日報告しました補正11号までを見込んでおります。25年度の見込み欄でございますが、基金合計の積立額は6,878万円になっており、財政調整基金は平成24年度決算剰余金の積立て1,500万円を含んでおります。取り崩しは一般会計の基金合計で3,578万2,000円、前年度末の残高は2億7,380万8,000

円を見込んでおります。

10 ページ、10、高齢者福祉関係予算（一般会計）の前年度対比の表であります。上の表は一般会計の老人福祉費に限ってその内訳を示したものでございます。計（A）の増減の欄であります。前年度と比較して総額 2,354 万 6,000 円の減、一般財源は 2,457 万 6,000 円の減となっております。また、下の表は教育費の高齢者学習センター費などを含めた老人福祉以外の高齢者に関する予算の主なものを集計しております。二つの表を合計した A プラス B の欄ですが、一般会計の高齢者福祉関係予算の増減は一般財源ベースで 989 万 6,000 円、1.5%の減となっております。

次に、11、当初予算の推移であります。これは過去 10 カ年の一般会計並びに全会計の予算額の推移であります。先ほど全会計の額を説明しておりますので省略させていただきます。

12 ページ、12、地方財政全体の推移と、13、白老町財政の推移を普通会計決算ベースで示した表でございます。上の表は地方交付税の全国ベースの推移であります。25 年度は 6 年ぶりに 2.2%の減となっております。下の表、町債現在高見込みは、25 年度末 144 億 2,500 万円、前年度より 9 億 8,500 万円の減となる見込みでございます。

これで資料の説明を終わらせていただきます。

以上をもちまして一般会計の予算説明を終了させていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま平成 25 年度白老町一般会計予算の 10 款教育費からの説明および予算の概要、ならびに説明資料等々の説明がございました。

これより議案第 9 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

それでは、平成 25 年度白老町一般会計予算全体につきまして何か、例えば聞き漏らし、あるいは再度このことだけちょっと確認しておきたいというようなこと、また説明でどうしてもわからない点、全体をとおしてございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 9 号 平成 25 年度白老町一般会計予算の議案説明を終わります。

日程第 2、議案第 10 号 平成 25 年度白老町国民健康保険事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

南町民課長。

○町民課長（南 光男君） 議案第 10 号でございます。平成 25 年度白老町国民健康保険事業特別会計予算についてご説明いたします。

予算総額は歳入歳出それぞれ 31 億 6,562 万 6,000 円の計上で、前年度と比較して 314 万円の減額でございます。

続きまして、2 ページ、「第 1 表 歳入歳出予算」と 6 ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

歳出から説明させていただきます。40 ページをお開きください。歳出でございます。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 547 万 7,000 円の計上でございます。国保運営に要する経費で前年度と比較して 30 万 1,000 円の減額でございます。主な減額分につきましては、レセプトの電子化により保管ロッカー保守点検業務委託料の削減で未計上でございます。

続いて、2 目連合会負担金 126 万 7,000 円、22 万 1,000 円の増額でございます。増額分は国保連合会事務費の負担金でございます。

次に、2 項 1 目賦課徴収費 1,016 万 9,000 円、22 万 8,000 円の減額でございます。(1)、嘱託職員人件費等 682 万 4,000 円、国保税の徴収嘱託職員 3 名分の人件費で、前年度と同様の計上でございます。続きまして 43 ページ、(2)、賦課徴収事務経費 334 万 5,000 円、前年度と比較して 22 万 8,000 円の減額でございます。賦課徴収に係る経費で主な減額分は国保税賦課集計業務委託料 36 万 1,000 円の減額でございます。

次に、3 項 1 目運営協議会費 21 万 7,000 円、前年度と同様の計上でございます。

44 ページをお開きください。4 項 1 目医療費適正化特別対策事業費 2,569 万 4,000 円、765 万 1,000 円の増額でございます。(1)、レセプト点検経費 199 万 8,000 円、レセプト点検員 1 名分の人件費等で、前年度と比較して 1 万円の増額でございます。(2)、保健指導推進経費 2,369 万 6,000 円、国保事業で保健指導推進にかかる保健師 3 名分、管理栄養士 1 名分、計 4 人分と臨時職員分の人件費で前年度と比較して 764 万 1,000 円の増額でございます。

次のページをお開きください。2 款保険給付費、1 項 1 目一般被保険者療養給与費 17 億 7,178 万 9,000 円、1,799 万 3,000 円の減額でございます。一般被保険者療養給付につきましては、24 年度決算見込みにより前年度比 1 %減の計上でございます。

2 目退職被保険者等療養給付費 1 億 6,320 万 4,000 円、3,025 万 7,000 円の増額でございます。退職者医療制度は 60 歳以上、65 歳未満の方が対象となっております。24 年度決算見込みにより前年度比 22.8%増の計上でございます。

3 目一般被保険者療養費 1,410 万 3,000 円、10 万 5,000 円の減額でございます。24 年度決算見込みにより前年度比 0.7%減の計上でございます。

4 目退職被保険者等療養費 74 万 6,000 円、19 万 3,000 円の減額でございます。24 年度決算見込みにより前年度比 20.6%減の計上でございます。

5 目審査支払手数料 461 万 4,000 円、前年度と同様の計上でございます。

48 ページをお開きください。2 項 1 目一般被保険者高額療養費 2 億 5,131 万円、2,051 万 9,000 円の減額でございます。24 年度決算見込みにより前年度比 7.5%減の計上でございます。

2 目退職被保険者等高額療養費 2,448 万 6,000 円、1,036 万円の増額でございます。これにつきましても 24 年度決算見込みにより前年度比 73.3%増の計上でございます。

3 目一般被保険者高額介護合算療養費 50 万円、4 目退職被保険者等高額介護合算療養費 20 万円、いずれも前年度と同額の計上でございます。

3 項 1 目一般被保険者移送費 10 万円、2 目退職被保険者等移送費 10 万円、いずれも前年度と同額の計上でございます。



50 ページをお開きください。4 項 1 目出産育児一時金 1,008 万 6,000 円、168 万 1,000 円の増額でございます。1 件 42 万円で 24 名分を計上してございます。

5 項 1 目葬祭給付費 97 万 5,000 円、22 万 5,000 円の減額でございます。24 年度決算見込みにより 1 件 1 万 5,000 円、65 名分の計上でございます。

次のページをお開きください。3 款後期高齢者支援金等、1 項 1 目後期高齢者支援金 3 億 3,779 万 6,000 円、1,113 万 9,000 円の増額でございます。後期高齢者医療による保険者負担でございまして、前年度比 3.4%増の計上でございます。

2 目後期高齢者事務費拠出金 2 万 8,000 円、3,000 円の増額でございます。これは運営経費に係る事務拠出金でございます。

次のページをお開きください。4 款前期高齢者納付金等、1 項 1 目前期高齢者納付金 12 万 5,000 円、24 万 4,000 円の減額でございます。前期高齢者納付金は 65 歳から 74 歳の被保険者で保険者間での負担の均衡を各保険者の加入数に応じて調整している制度でございます。

2 目前期高齢者事務費拠出金 2 万 8,000 円、4,000 円の増額でございます。

次のページをお開きください。5 款老人保健拠出金、1 項 1 目老人保健医療費拠出金 10 万円、次に 2 目老人保健事務費拠出金 2 万円、いずれも前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。6 款介護納付金、1 項 1 目介護納付金 1 億 3,900 万 2,000 円、32 万 2,000 円の減額でございます。これは 40 歳から 65 歳未満の介護 2 号被保険者の減により前年度比 0.2%減の計上でございます。

次のページをお開きください。7 款共同事業拠出金、1 項 1 目高額医療費拠出金 6,677 万 2,000 円、1,591 万 7,000 円の減額でございます。これはレセプト 1 件当たり 80 万円を超える医療費について市町村国保の保険料の平準化財政安定を図るために拠出し交付金を受ける共同事業で、高額医療費の減額を見込み、前年度比 19.2%減の計上でございます。

2 目共同事業事務費拠出金 1 万円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

3 目保険財政共同事業拠出金 3 億 179 万 3,000 円、420 万 8,000 円の減額でございます。これは、レセプト 1 件当たり 30 万円を超える医療費について 1 目で高額医療費拠出金で申しました共同事業として同様の目的で拠出する事業で、高額医療費の減額を見込み、前年度比 1.4%減の計上でございます。

次のページをお開きください。8 款保健事業費、1 項 1 目特定健康診査等事業費 1,623 万 7,000 円、137 万 7,000 円の増額でございます。主な増額分は、健診受診率約 34%を見込み、1,682 人の受診を見込んでおります。これらに係る事務経費を精査し計上したことによる増額でございます。

2 項 1 目保健衛生普及費 1,287 万 6,000 円、557 万 8,000 円の減額でございます。(1)、健康づくり指導経費 879 万 3,000 円、前年度と比較して 50 万 7,000 円の増額でございます。主な増額分は事務経費で 62 万 6,000 円の増でございます。主な減分は、各基金業務を精査し 15 万 5,000 円の減でございます。65 ページをお開きください。(2)、国保保健指導事業経費 408 万 3,000 円、前年度と比較して 1,000 円の増額でございます。主な増減は臨時職員分の人件費 92

万 8,000 円の増と、事務経費削減による 92 万 7,000 円の減でございます。

次のページをお開きください。9 款基金積立金、1 項 1 目国民健康保険事業基金積立金 1,000 円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。10 款公債費、1 項 1 目利子、(1)、一時借入金利子 100 万円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。11 款諸支出金、1 項 1 目一般被保険者国保税還付金 160 万円、続いて 2 目退職被保険者等国保税還付金 20 万円、続いて 3 目償還金 1,000 円、いずれも前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。12 款予備費、1 項 1 目予備費 300 万円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

75 ページ以降の給与費明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

歳出は以上でございます。

次に、歳入を説明させていただきます。10 ページをお開きください。歳入でございます。1 款国民健康保険税、1 項 1 目一般被保険者国民健康保険税 3 億 9,770 万円、前年度と比較して 1,252 万 8,000 円の減額でございます。経済状況の悪化により所得が減少していることから、前年度比 3.1%減の計上でございます。収納率につきましては過去 3 年間の実績収納率の平均をもとに現年度分 90%、滞納繰越分 5%での計上でございます。

次のページをお開きください。2 目退職被保険者等国民健康保険税 4,368 万 6,000 円、前年度と比較して 255 万 3,000 円の減額でございます。前年度比 5.5%減の計上でございます。収納率につきましては一般被保険者と同様に過去 3 年間の実績収納率の平均をもとに前年度分 96%、滞納繰越分 10%の計上でございます。

16 ページをお開きください。2 款国庫支出金、1 項 1 目療養給付費等負担金 4 億 4,446 万 4,000 円、4,518 万 1,000 円の減額でございます。これは前期高齢者交付金の増額が見込まれることから、前年度比 9.2%減の計上でございます。

2 目高額医療費共同事業負担金 1,669 万 2,000 円、398 万円の減額でございます。高額医療費の減額を見込み、前年度比 19.3%減の計上でございます。

3 目特定健康診査等負担金 294 万 7,000 円、8 万 1,000 円の減額でございます。これは特定健診等の費用の 3 分の 1 を国が負担するものでございます。

2 項 1 目財政調整交付金 3 億 1,049 万 1,000 円、5,313 万 4,000 円の増額でございます。うち収支不足分、単年度赤字見込みの補てん分として 1 億 1,351 万 4,000 円を見込んでおります。出産育児一時金補助金は、24 年度から制度が高額化されたことに伴って未計上でございます。

次のページをお開きください。3 款療養給付費等交付金、1 項 1 目療養給付費等交付金 1 億 6,978 万 7,000 円、567 万 9,000 円の増額でございます。退職者医療制度の実施に必要な財源で医療費が伸びておりますので、前年度比 3.5%増の計上でございます。

次のページをお開きください。4 款前期高齢者交付金、1 項 1 目前期高齢者交付金 10 億 7,670

万円、1億1,435万3,000円の増額でございます。前期高齢者といわれる65歳から74歳について全国平均加入率を上回る保険者に交付される制度でございます。当町は23年度決算ベースで加入率40.5%となっております。

次のページをお開きください。5款道支出金、1項1目高額医療費共同事業負担金1,669万2,000円、398万円の減額でございます。高額医療費の減額を見込み、前年度比19.3%減の計上でございます。

2目特定健康診査等負担金294万7,000円、8万1,000円の減額でございます。これは特定健康診査等費用の3分の1を北海道が負担するものでございます。

2項1目北海道国民健康保険調整交付金9,984万7,000円、3,172万3,000円の減額でございます。普通調整交付金は前年度と比較して4,060万9,000円の減額でございます。特別調整交付金は歳出でご説明いたしました医療費適正化特別対策事業費の保健指導推進経費に対して保健師3名分、管理栄養士1名分、計4人分の人件費等で1,100万円を見込み、計上しております。交付金は実績に基づき交付されるものでございます。

次のページをお開きください。6款連合会支出金、1項1目保健事業等推進給付金1,000円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。7款共同事業交付金、1項1目共同事業交付金6,677万1,000円、1,591万7,000円の減額でございます。高額医療費の減を見込み、前年度比19.2%減の計上でございます。

2目保険財政共同安定化事業交付金2億9,273万8,000円、4,386万2,000円の減額でございます。高額医療費の減を見込み、前年度比13%減の計上でございます。

次のページをお開きください。8款財産収入、1項1目利子及び配当金1,000円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。9款繰入金、1項1目一般会計繰入金2億2,061万7,000円、1,653万2,000円の減額でございます。事務費分は2,415万8,000円のうち、保健指導推進に伴う保健師人件費等の町負担分1,169万9,000円の計上でございます。出産育児一時金分以降、記載の項目は繰出基準により繰入金の計上でございます。

次のページをお開きください。10款繰越金、1項1目繰越金1,000円の計上でございます。前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。11款諸収入、1項1目一般被保険者延滞金30万円、2目退職被保険者等延滞金10万円、続いて2項1目町預金利子3万円につきましては、前年度と同額の計上でございます。

3項1目特定健康診査等一部負担金218万4,000円、7万8,000円の増額でございます。特定健康診受診者増による増額でございます。

4項1目一般被保険者第三者納付金50万円、2目退職被保険者等第三者納付金5万円、3目一般被保険者返納金30万円、4目退職被保険者等返納金1,000円につきましては、前年と同額の計上でございます。

5目雑入7万9,000円、3万4,000円の増額でございます。主な増額分は印刷物有料広告掲載料として2万7,000円の増でございます。

以上で白老町国民健康保険事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第10号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第10号の議案説明を終わります。

日程第3、議案第11号 平成25年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

南町民課長。

○町民課長（南 光男君） 議案第11号でございます。平成25年度白老町後期高齢者医療事業特別会計予算についてご説明いたします。

予算総額は歳入歳出それぞれ2億6,788万円の計上で、前年度と比較して869万7,000円の減額でございます。

2ページ、「第1表 歳入歳出予算」と6ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

歳出から説明させていただきます。22ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費16万7,000円の計上でございます。制度運営に要する経費で、前年度と比較して2万9,000円の減額でございます。

2項1目徴収費245万9,000円、182万5,000円の減額でございます。主な増額は、被保険者証は2年度毎に更新となりますが、本年度は更新年度となりますので53万9,000円の増額、減額につきましては電算システムのクラウド化に伴い後期高齢者医療賦課徴収業務委託料83万8,000円の減額と、臨時職員1名分の経費の削減で、これにつきましては未計上となっております。

次のページをお開きください。2款分担金及び負担金、1項1目広域連合分賦金、(1)、広域連合負担金2億6,485万4,000円、679万3,000円の減額でございます。負担金の内訳といたしまして、後期高齢者医療保険料負担金は被保険者から徴収した保険料を納付するものでございます。1億9,251万4,000円で、前年度と比較して732万9,000円の減額でございます。続いて、後期高齢者医療保険基盤安定負担金は保険料の軽減措置に対する財政支援分として納付するものでございます。6,578万1,000円で、前年度と比較して259万1,000円の増額でございます。続いて、後期高齢者医療事務費負担金は北海道後期高齢者医療広域連合の運営経費で算出は均等割、高齢者人口割、市町村人口割で算出され655万9,000円を納付するもので、前年度と比較して205万5,000円の減額でございます。

次のページをお開きください。3款諸支出金、1項1目保険料還付金35万円、前年度と同額の計上でございます。保険料の過誤納等により還付が発生した場合の還付金でございます。

次のページをお開きください。4款予備費、1項1目予備費5万円、前年度と比較して5万円の減額でございます。

歳出は以上でございます。

次に、10ページをお開きください。歳入でございます。1款後期高齢者医療保険料、1項1目後期高齢者医療保険料1億9,201万3,000円、732万9,000円の減額でございます。現年分特別徴収保険料1億3,451万6,000円、現年分普通徴収保険料5,649万7,000円、収納率は98%の計上でございます。滞納繰越分普通徴収保険料100万円、収納率は40%での計上でございます。次のページをお開きください。2款広域連合支出金、1項1目高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金1,000円、前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。3款繰入金、1項1目一般会計繰入金7,501万円、136万8,000円の減額でございます。事務費繰入金922万9,000円、395万9,000円の減額でございます。続いて保険基盤安定繰入金6,578万1,000円は保険料軽減に対する負担分でございます。負担割合は北海道が4分の3、町が4分の1でございます。前年度と比較して259万1,000円の増額でございます。

次のページをお開きください。4款繰越金、1項1目繰越金50万円、前年度と同額の計上でございます。

次のページをお開きください。5款諸収入、1項1目延滞金1,000円、続いて2項1目保険料還付金30万円、2目還付加算金5万円、続いて3項1目預金利子4,000円、続いて4項1目雑入1,000円、記載のとおり前年度と同額の計上でございます。以上で、白老町後期高齢者医療事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第11号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。7番、西田・子議員。

○議員（西田・子君） 後期高齢者のこの分なのですけれども、現在後期高齢者のほうで積み立てというか、残金というのですか、24年度末が終わって25年度に繰り越しになるときの残高というのですか、そういうのは保険基盤安定繰越金とか入れていますけれども、全町から合わせた、全道のそちらのほうの残高というのですか、そういうものはわかるのでしょうか。もしわかれば本会議のときでも結構ですから、そういうものを教えていただくとありがたいと思うのですけど。

○議長（山本浩平君） 南町民課長。

○町民課長（南 光男君） 保険料というか広域連合全体の積立金残高、いろんな基金とか、そういうものの残高ということでよろしいですか。それはちょっと確認して本会議のときにご説明させていただきたいと思えます。

○議長（山本浩平君） ほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 11 号の議案説明を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 11 時 59 分

---

再開 午後 0 時 59 分

○議長（山本浩平君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

日程第 4、議案第 12 号 平成 25 年度白老町公共下水道事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） それでは、議案第 12 号 平成 25 年度白老町公共下水道事業特別会計予算についてご説明いたします。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 11 億 4,111 万 2,000 円を計上するものでございます。

2 ページ、「第 1 表 歳入歳出予算」、さらに 4 ページ、「第 2 表 債務負担行為」、5 ページ、「第 3 表 地方債」につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

続きまして 8 ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましても記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

28 ページの歳出からご説明いたします。1 款 1 項 1 目下水道総務費 4,870 万 2,000 円、前年比 1,481 万 9,000 円の減でございます。説明欄の（1）、下水道業務一般事務経費 4,647 万 8,000 円、前年比 1,202 万円の減となっております。主な理由でございますが、前年度当初予算では下水道事業で計上していた人件費のうち 1 名分について従来同様に水道会計からの計上に戻したことにより、2 節の給料から 4 節の共済費までの人件費分として、前年比 971 万 3,000 円の減となっているものでございます。13 節の委託料では下水道使用料賦課徴収業務委託料の単価 1 件当たり 150 円から 160 円の見直しを行ったことにより、前年比で 75 万 1,000 円の増となっております。31 ページ、27 節公課費、消費税納付金は前年度確定納付額から算出して、前年比 293 万 6,000 円の減となっております。（2）、水洗便所普及・排水整備促進経費、前年貸付実績等を踏まえ 222 万 4,000 円を計上しており、前年比で 279 万 9,000 円の減となっております。

続いて、2 目下水道維持管理費 5,436 万円、前年比 809 万 9,000 円の減となっております。説明欄の（1）、管渠維持管理経費 1,151 万円、前年比 65 万 9,000 円の減となっておりますが、15 節の工事請負費、下水道管渠維持補修工事で前年比 38 万円減としたほか、各節の維持管理経費見直しによるものでございます。33 ページ、（2）、管渠維持管理事業（臨時）につきましては、老朽管渠補修延長の調整で 4,285 万円、前年比 744 万円の減としております。更新の箇所につきましては、引き続き白老の末広、さらに栄町地区の老朽管渠の補修工事を実施するほか、竹浦地区の老朽化した公設ますの取りかえを予定しております。

続いて、3 目処理場管理費につきましては 1 億 8,004 万 7,000 円、前年比 337 万円の減とな

っております。説明欄、(1)、処理場管理経費、11 節需用費の修繕料では処理場 A 系統の保水ポンプ修繕、敷生川、虎杖浜などの 4 カ所のマンホール内ポンプ修繕を予定しておりますが、前年比 143 万 7,000 円減の予算計上としております。12 節役務費では脱水汚泥運搬費が前年度実績を踏まえ 73 万 5,000 円の減となっております。13 節の委託料でも脱水汚泥の処分について、前年度実績を踏まえ 95 万 2,000 円の減としております。15 節工事請負費では、前年比で 25 万 7,000 円の増となっておりますが、これは東町中継ポンプ場の自動通報装置更新工事を行うためのものであります。

33 ページから 35 ページ、2 項 1 目下水道施設費 1 億 3,489 万 4,000 円、前年比 3 億 9,247 万 9,000 円の減となっております。説明欄の(1)、管渠及び処理場整備費(公共下水道)としましては 1 億 3,489 万 4,000 円で前年比 3 億 7,687 万 2,000 円の減となっております。次のページ、13 節の委託料では調査及び設計に係る委託料が前年比で 4,750 万円の増としておりますが、これは下水道の全体計画であるとか、認可変更に伴っての事務委託及び処理場の長寿命化に向けた設備改修のための実績設計委託や環境整備に伴う実績設計委託料を計上したことによるものでございます。15 節工事請負費では前年比 4 億 2,480 万円の減となっております。これは、2 カ年事業で実施してきた合流改善における高速ろ過施設等の水処理施設の建設工事が終了したことによるものであります。25 年度では合流改善に係る最終年次の事業として町内 5 カ所の雨水ばきに設けますスクリーン整備の実施を終了しております。また、浸入水の対策としての管渠整備であるとか、未普及地区解消のための管渠整備も予定しております。なお、特定環境保全公共下水道事業につきましては、前年度の事業をもって計画部分が完了したことから当面休止となります。

続いて 37 ページ、2 款 1 項公債費 7 億 2,260 万 9,000 円、前年比 247 万円の増となっております。1 目元金、(1)、長期債元金償還費 5 億 4,403 万 7,000 円、前年比 2,250 万 9,000 円の増となっております。増額の主な要因は既存借入債の定期償還に係る元金額の増によるものでございます。なお、平成 24 年度末での下水道事業債の現在高としましては 83 億 4,960 万 8,000 円となる見込みでございます。

次に、2 目利子 1 億 7,857 万 2,000 円、前年比 2,003 万 9,000 円の減となっております。説明欄、(1)、長期債利子支払費 1 億 7,600 万 2,000 円、前年比 1,959 万 7,000 円の減となっております。減額の主な要因は既存借入債の定期償還の中での減、さらには低率なものへの借りかえ実施に伴う利息額の減でございます。(2)、一時借入金利子支払費 257 万円、前年比 44 万 2,000 円の減となっております。減額の主な要因は予定利率の減少によるものでございます。

39 ページ、3 款 1 項 1 目予備費 50 万円につきましては前年度と同額としております。

12 ページに戻りまして、歳入についてご説明いたします。1 款 1 項 1 目都市計画下水道事業受託者負担金 671 万 5,000 円、前年比 346 万 5,000 円の減となっております。1 節現年度受益者負担金 506 万 5,000 円、これは事業規模の縮小に伴い供用開始区域の賦課面積が減少したことによって前年比 331 万 5,000 円の減となっております。2 節滞納繰越分 165 万円、前年比 15 万円の減としてございます。

14 ページ、2 款 1 項 1 目下水道使用料 3 億 3,439 万 9,000 円、こちらにつきましては近年の調定実績をもとに試算しておりまして、前年比 1,092 万 1,000 円の増としております。滞納繰越分につきましても前年比 11 万 2,000 円の増としております。

次に、2 目生し尿処理施設使用料 400 万円、前年比 32 万円の減ですが、これは前年度の実績見込みをもとに計上しております。

次に、3 目下水道施設使用料 4 万 5,000 円、前年度と同額で計上してございます。

次に、2 項 1 目下水道手数料 15 万 3,000 円、前年比 9,000 円の減となっております。こちらにも前年度実績見込みをもとに計上しております。

16 ページ、3 款国庫支出金、1 項 1 目都市計画事業補助金 2,410 万円、前年比 2 億 3,382 万円の減となっております。こちらは歳出の補助事業費見合いにより計上しております。

18 ページ、4 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 5 億 5,169 万円、前年比 2,753 万 7,000 円の増となっております。主に公債費元金及び利子充当分に係る繰入金の増によるものでございます。

20 ページ、5 款 1 項 1 目繰越金につきましては、24 年度決算見込みにおいて繰越金発生の見込みがあることから 1,000 万円を計上するものでございます。

22 ページ、6 款諸収入、1 項 1 目延滞金、2 項 1 目町預金利子につきましては、前年度と同額計上しております。

次に、3 項 1 目貸付金元金収入 208 万円、前年比 265 万円の減となっております。前年実績を踏まえての計上としてございます。

2 目釣銭資金貸付金元金収入につきましては、前年度と同額計上しております。

24 ページ、7 款町債、1 項 1 目下水道債 2 億 790 万円、前年比 2 億 920 万円の減となっております。公共下水道事業債は事業費の縮小に伴い 7,360 万円、前年比 1 億 3,840 万円の減となっております。また、特定環境保全公共下水道事業を 25 年度から休止としておりますので、この部分を含めると 1 億 4,940 万円の減となっております。資本費平準化債は 1 億 2,130 万円、前年比 2,570 万円の減となっております。公共下水道事業債（特別措置分）は 1,300 万円、前年比 3,410 万円の減となっております。

41 ページからの給与費明細書、49 ページからの地方債現在高見込額調書、51 ページからの債務負担行為に関する調書は記載のとおりでありますので説明は省略させていただきます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 12 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 12 号の議案説明を終わります。

日程第 5、議案第 13 号 平成 25 年度白老町学校給食特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。



葛西給食センター長。

○学校給食センター長（葛西吉孝君） それでは、議案第13号 平成25年度白老町学校給食特別会計予算についてご説明いたします。

予算の総額は歳入歳出それぞれ7,198万9,000円で、前年比451万7,000円の減となっております。

2ページ、「第1表 歳入歳出予算」、及び6ページの歳入歳出予算事項別明細書の総括につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

まず、歳出から申し上げます。16ページをお開きください。1款給食費、1項1目給食材料購入費7,198万9,000円、前年比451万7,000円、約5.9%の減であります。減額の要因といたしましては児童数、生徒数の減によるものでございます。1週間の献立につきましては米飯3回、パン1回、めん1回。給食供給数につきましては年間190日とし、昨年同様の内容で計上してございます。主食材料購入費につきましては米飯、パン、牛乳、デザートなどの購入経費でございます。また、温食等材料購入委託料は主に野菜など温食等に係わる材料購入費となっております。

以上、歳出の内容でございます。

10ページへお戻りください。歳入をご説明いたします。1款諸収入、1項1目学校給食費収入7,198万5,000円、前年比451万7,000円、約5.9%の減となっております。給食費の1食単価は小学校低学年、高学年及び中学校の3段階としており、昨年と同額となっております。収納率につきましては昨年度と同様現年度分で98%、滞納繰越分で20%を見込んでおります。

次に、2項1目預金利子、3項1目消費税還付金、4項1目雑入は科目存置のため、それぞれ1,000円を計上させていただきました。

12ページでございます。2款繰越金、1項1目繰越金は前年度と同額で1,000円を計上してございます。

以上、簡単ではございますが学校給食特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第13号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第13号の議案説明を終わります。

日程第6、議案第14号 平成25年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

赤城港湾室長。

○港湾室長（赤城雅也君） それでは、議案第14号 平成25年度白老町港湾機能施設整備事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

本年度の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,721万7,000円を計上するものであり、前年比1,646万4,000円の減額でございます。

2 ページ、「第 1 表 歳入歳出予算」、及び 4 ページ、「第 2 表 地方債」については記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

6 ページの歳入歳出予算事項別明細書でございますが、これも記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

22 ページをお開き願います。歳出からご説明申し上げます。1 款港湾機能施設運営費、1 項 1 目港湾機能施設運営費、本年度 287 万 5,000 円、前年比 34 万 5,000 円の増額でございます。説明欄、(1)、11 節需用費の修繕費は 5 万円で、前年比 250 万円の減額でございます。13 節委託料、事務事業委託料、船舶給水業務委託料 11 万 1,000 円を増額しております。これは第 2 商港区分の船舶給水を一般会計から移したことによる増額となりました。27 節公課費でございますが、これは消費税でございます。課税方式で納税しておりましたが、昨年度に船舶給水工事及び照明施設工事発注により支払い消費税の発生により、仕入れ控除の対象となるため原則課税方式へ戻り 57 万 2,000 円の増額となりました。

24 ページ、2 款 1 項 1 目元金、本年度 4,688 万 6,000 円、前年比 350 万 5,000 円の増額でございます。説明欄、23 節償還金、利子及び割引料でございます。長期債元金償還金 4,081 万円、平準化債元金償還金 534 万 6,000 円、港湾整備事業費償還金 73 万円でございます。

次に、2 目利子、本年度 744 万 6,000 円、前年比 61 万 4,000 円の減額でございます。利子償還金であります。元金償還金に伴う利子の減額でございます。

26 ページです。3 款予備費、1 項 1 目予備費、本年度 1 万円、前年と同額でございます。なお、次の 28 ページの港湾機能施設整備費につきましては廃目とするものでございます。

以上が歳出の内容でございます。

次に、歳入を説明いたします。10 ページへお戻りください。歳入、1 款使用料及び手数料、1 項 1 目港湾使用料、本年度 1,460 万 1,000 円で、前年比 539 万 7,000 円の減額でございます。これは公共上屋使用料でございます。これが 1,399 万 9,000 円で 599 万 9,000 円の減額でございます。全面積の 70%分を計上するものであり、実質見合いということで計上いたしました。次に、船舶給水施設使用料は新規で 60 万 2,000 円の増額でございます。

12 ページ、2 款財産収入、1 項 1 目財産貸付収入、本年度は 45 万 6,000 円、前年比 17 万 4,000 円の増額でございます。

14 ページ、3 款繰入金、1 項 1 目他会計繰入金、本年度 2,596 万円、前年比 996 万円の増額でございます。これは赤字救済として一般会計からの繰り入れ、元金償還分と増額と上屋使用料の減によるものです。

16 ページ、4 款町債、1 項 1 目港湾整備事業債、本年度 1,620 万円、前年比 2,120 万円の減額でございます。これは資本費平準化債の借り入れでございます。なお、18 ページの諸収入については廃目とするものでございます。

以上が歳入の内容でございます。最後に、最終ページの 32 ページをお開き願います。地方債残高でございます。記載のとおりでございますが、25 年度残高見込額は 4 億 513 万 3,000 円でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） ただいま議案の説明が終わりました。

これより議案第 14 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 14 号の議案説明を終わります。

日程第 7、議案第 15 号 平成 25 年度白老町墓園造成事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

中村生活環境課参事。

○生活環境課参事（中村英二君） 議案第 15 号でございます。平成 25 年度白老町墓園造成事業特別会計予算についてご説明いたします。

予算総額は、歳入歳出それぞれ 315 万円であります。

2 ページの「第 1 表 歳入歳出予算」、及び 6 ページの歳入歳出予算事項別明細書につきましては記載のとおりでございます。説明を省略させていただきます。

18 ページ、歳出についてご説明させていただきます。1 款 1 項 1 目墓地区画費 9 万 9,000 円、前年度比 14 万 3,000 円の減であります。墓園パンフレットの作成経費でございます。

20 ページでございます。2 款 1 項公債費、1 目元金 250 万円であります。

次、2 目利子 55 万円、前年度比 44 万 6,000 円の減であります。元金、利子、償還金とも公債費の借りかえを実施した後の 1 年目の償還分の計上でございます。

22 ページでございます。3 款 1 項 1 目予備費 1,000 円の計上でございます。

以上が歳出の内容でございます。

10 ページ、歳入をご説明いたします。1 款使用料及び手数料、1 項使用料、1 目墓園使用料 311 万 1,000 円、前年度比 63 万円の減でございます。平成 23 年度に造成しました第 3 期分譲分及び第 1 期、第 2 期造成の残り区画の使用料を見込み計上したものであります。

12 ページでございます。2 款 1 項 1 目繰越金、前年度繰越金 3 万 8,000 円を見込んだものであります。

14 ページでございます。3 款諸収入、1 項 1 目町預金利子、前年同額の 1,000 円であります。

以上、歳入の内容でございます。

最後になりますが、26 ページの地方債現在高見込額調書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

以上で墓園造成事業特別会計予算の説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 15 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 15 号の議案説明を終わります。

日程第 8、議案第 16 号 平成 25 年度白老町介護保険事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

西健康福祉課長。

○健康福祉課長（西 幹雄君） 議案第 16 号 平成 25 年度白老町介護保険事業特別会計予算についてご説明いたします。

予算総額は歳入歳出それぞれ 19 億 1,522 万 7,000 円で、前年比 711 万 2,000 円の減額となっております。

次に、2 ページの「第 1 表 歳入歳出予算」と、6 ページの歳入歳出予算事項別明細書総括につきましては記載のとおりでありますので説明を省略させていただきます。

それでは、歳出から説明させていただきます。30 ページをお開きください。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 400 万 2,000 円の計上で、前年比 1 万 7,000 円の減額でございます。これは介護保険事業運営に係る共通経費でございます。

2 項 1 目賦課徴収費 211 万 4,000 円、前年比 10 万円の減額でございます。これは介護保険料の賦課徴収に係る経費でございます。

32 ページ、3 項 1 目介護認定審査会費 221 万円の計上で、前年比 177 万 2,000 円の減額でございます。これにつきましては介護認定審査に係る経費でございます。

2 目認定調査費 1,259 万 6,000 円、前年比 37 万 6,000 円の増額でございます。これは介護認定調査に係る経費でございます。こちらは調査のほうに係る経費でございます。

4 項 1 目趣旨普及費 4 万 1,000 円の計上で、これについては介護保険制度の趣旨普及に係る経費でございます。

34 ページ、5 項 1 目計画策定費 3 万 6,000 円の計上でございます。これにつきましては前年同額で介護保険事業計画推進協議会経費でございます。

36 ページ、2 款保険給付費全体につきましては、第 5 期介護保険事業計画に基づき居宅分 604 人、施設分 298 人、計 902 人分で、総額 18 億 2,996 万 7,000 円の給付費を計上しており、前年比 967 万 3,000 円の増額となっております。

2 款保険給付費、1 項 1 目介護給付費 15 億 4,545 万 8,000 円の計上で、前年比 57 万 2,000 円の減額となっております。これは要介護 1 から要介護 5 までの介護サービスの給付費でございます。

2 目介護予防給付費 9,407 万円の計上で、前年比 360 万 3,000 円の増額でございます。これにつきましては要支援 1 と要支援 2 の給付費であります。

3 目審査支払手数料 142 万円の計上で、前年比 1 万 2,000 円の増額でございます。

2 項 1 目高額介護サービス費 5,539 万 3,000 円の計上で、前年比 606 万 9,000 円の増額となっております。

38 ページ、3 項 1 目特定入所者介護サービス費 1 億 2,818 万 5,000 円の計上で、前年比 2 万 1,000 円の減額でございます。介護保険 3 施設の入所者と短期入所利用者で低所得者に対する食費及び居住費に対する補足給付費であります。

2目特例特定入所者介護サービス費1万円の計上でございます。これは前年度と同額でございます。

3目特定入所者支援サービス費15万円の計上で、これは前年比2万1,000円の増額で、要支援認定者で低所得者段階の方に対する短期入所者の食費及び居住費の補足給付費であります。

4目特例特定入所者支援サービス費1万円の計上で、これは前年と同額となっております。

40ページ、4項1目高額医療合算介護サービス費527万1,000円の計上で、前年比56万1,000円の増額であります。これにつきましては医療費と介護サービス費の一部負担金の合計額の上限額を超えた部分に給付するものでございます。

42ページ、3款地域支援事業費、1項1目介護二次予防高齢者施策事業費283万5,000円で、前年比44万2,000円の減額でございます。これにつきましては二次予防高齢者該当者に対する通所介護事業委託経費でございます。

2目介護一次予防高齢者施策事業費1,540万1,000円の計上で、これにつきましては高齢者健康づくり事業経費でございまして、介護予防活動の育成支援、知識の普及啓発などの経費で前年比8万4,000円の増額でございます。

44ページ、2項1目総合相談事業費2,466万2,000円の計上でございます。これにつきましては地域包括支援センターの総合相談事業及び地域型在宅介護支援センター業務委託経費で前年比104万2,000円の減額でございます。

46ページ、2目権利擁護事業費15万6,000円の計上で、これにつきましては講演会開催経費及びパンフレット購入経費で前年比3万3,000円の増額でございます。

3目任意事業費2,036万2,000円の計上で、前年比61万7,000円の増額でございまして、これにつきましては配食サービスの食数の増によるものでございます。

50ページ、4款基金積立金、1項1目介護給付費事業基金積立金5万円の計上でございます。前年比1,461万5,000円の減でございます。これにつきましては昨年が第5次介護保険事業計画の改定期で介護保険料の上昇を抑えるために道のほうから財政安定化基金が交付されましたが、本年度は交付されませんので利子分だけの計上でございます。

52ページ、5款公債費、1項1目利子でございまして、一時借入金利子10万円の計上でございます。

54ページ、6款諸支出金、1項1目第1号被保険者保険料還付金68万4,000円の計上で、これにつきましては過年度分介護保険料の還付金であり、前年度と同額となっております。

2目償還金につきましては科目存置でございます。

56ページ、7款予備費、1項1目予備費1万円の計上で、前年比6,000円の増額となっております。

続きまして、歳入の説明に入らせていただきます。10ページをお開きください。1款介護保険料、1項1目第1号被保険者介護保険料3億5,335万3,000円で、前年比700万2,000円の増額でございます。これにつきましては第5期介護保険事業計画に基づき、被保険者数6,909人ということで前年比136人の増加であり、収納率98.2%を見込んでございます。

12 ページの 2 款分担金及び負担金、1 項 1 目地域支援事業負担金 982 万 8,000 円でございます。これは二次予防高齢者通所介護事業負担金と配食サービスの負担金でございます。

14 ページ、3 款国庫支出金、1 項 1 目介護給付費負担金 3 億 840 万 3,000 円で、前年比 156 万 2,000 円の増額となっております。これは保険給付費における国の負担分で施設分が 15%、その他の分が 20%となっております。

2 項 1 目調整交付金 1 億 1,547 万 1,000 円で、前年比 6 万 1,000 円の増額であります。これは国の負担割合は 5%が基本でございますけれども、後期高齢者数や所得状況により 6.31%を見込んでおります。

2 目地域支援事業交付金（介護予防事業）分 449 万 5,000 円で、前年比 8 万 2,000 円の減額となっております。この介護予防事業における国の負担割合は 25%でございます。

3 目地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）分 1,405 万 4,000 円で、これにつきましては前年比 44 万 9,000 円の減額でございます。この包括支援事業・任意事業における国の負担割合は 39.5%となっております。

16 ページ、4 款道支出金、1 項 1 目介護給付費負担金 2 億 8,633 万 7,000 円の計上で、前年比 158 万 1,000 円の増額でございます。保険給付における道の負担割合は施設分が 17.5%、その他分が 12.5%となっております。

2 項 1 目交付金 1,000 円の計上でございます。これは歳出で説明したとおりでございます。

2 目貸付金は科目存置でございます。

3 項 1 目地域支援事業交付金（介護予防事業）分 224 万 8,000 円の計上で、前年比 4 万 1,000 円の減額となっております。道の負担割合は 12.5%であります。

2 目地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）分 702 万 7,000 円の計上で、前年比 22 万 5,000 円の減額となっております。道の負担割合は 19.75%でございます。

18 ページ、5 款支払基金交付金、1 項 1 目介護給付費交付金 5 億 3,069 万 1,000 円の計上で、前年比 280 万 5,000 円の増額でございます。

2 目地域支援事業支援交付金 521 万 4,000 円の計上で、前年比 9 万 6,000 円の減額となっております。1 目介護給付費交付金及び 2 目地域支援事業支援交付金の負担割合は 29%となっております。

20 ページ、6 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金 5 万円の計上でございます。これは介護保険事業運用の利息でございます。

22 ページ、7 款繰入金、1 項 1 目介護給付費繰入金 2 億 2,874 万 6,000 円の計上で、前年比 120 万 9,000 円の増額でございます。

2 目地域支援事業繰入金（介護予防事業）分 224 万 7,000 円の計上で、前年比 4 万 2,000 円の減額となっており、1 目及び 2 目の町の負担割合は 12.5%であります。

3 目地域支援事業繰入金（包括的支援事業・任意事業）分 702 万 6,000 円の計上で、前年比 22 万 5,000 円の減額となっており、町の負担割合は 19.75%でございます。

4目その他一般会計繰入金 2,096万6,000円の計上で、前年比151万2,000円の減額でございます。これは歳出で説明しました1款総務費に係る繰入金でございます。

2項1目介護保険基金繰入金 1,900万1,000円の計上で、これにつきましては前年比483万5,000円の減額となっております。

24ページ、8款繰越金、1項1目繰越金は科目存置でございます。

26ページ、9款諸収入、1項1目第1号被保険者延滞金から3項2目返納金まではいずれも科目存置でございます。

3目雑入6万3,000円の計上でございますが、これにつきましては臨時職員等の雇用保険料個人負担分でございます。

これで歳入のほうを終わらせていただきます。

59ページの給与費明細書、ならびに債務負担行為に関する調書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

これで説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

れより議案第16号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第16号の議案説明を終わります。

日程第9、議案第17号 平成25年度白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

西健康福祉課長。

○健康福祉課長（西 幹雄君） 議案第17号 平成25年度白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計予算についてご説明いたします。

平成25年度白老町立特別養護老人ホーム事業特別会計予算総額は、歳入歳出それぞれ5,126万2,000円となっており、前年比7万6,000円の減となっております。

2ページの「第1表 歳入歳出予算」、及び5ページの事項別明細書総括につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

それでは、歳出からご説明申し上げます。22ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費14万7,000円の計上でございます。これは前年比同額でございます。火災保険料でございます。

24ページ、2款基金積立金、1項1目特別養護老人ホーム事業基金積立金3万6,000円の計上であり、前年度比6万3,000円の減となっております。

26ページ、3款公債費、1項1目元金でございます。これにつきましては長期債元金償還金4,018万4,000円の計上でありまして、前年比73万8,000円の増となっております。この償還金につきましては財政融資分と金融公庫分の長期債の元金償還金となっております。

2目利子1,089万5,000円の計上で、前年比75万1,000円の減額でございます。これにつき

ましては長期債利子償還金と一時借入金利子償還金の分でございます。

続きまして、歳入のほうを説明させていただきます。10 ページをお開きください。1 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金 3 万 5,000 円の計上で、前年比 1,000 円の減額でございます。これは特別養護老人ホーム事業基金積立金の利子でございます。

2 項 1 目土地建物貸付収入 1 万円の計上で、これは前年と同額でございます。

12 ページ、2 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金 2,314 万 7,000 円の計上でございまして、これは前年と同額でございます。

2 項 1 目特別養護老人ホーム事業基金繰入金 214 万 9,000 円の計上で、これは特別養護老人ホーム事業基金からの繰り入れでございます。

14 ページ、3 款 1 項 1 目繰越金 1,000 円は前年と同額でございます。これについては科目存置でございます。

16 ページ、4 款諸収入、1 項 1 目雑入 2,592 万円の計上で、これは前年比 222 万 3,000 円の減でございます。これにつきましては前年度の実績見込みをもとに算定してございます。

以上で歳入を終わらせていただきます。

続きまして 30 ページの地方債現在高見込調書でございますが、これについては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

以上、説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 17 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 17 号の議案説明を終わります。

日程第 10、議案第 18 号 平成 25 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計予算の議案について説明をお願いいたします。

野宮病院事務次長。

○病院事務次長（野宮淳史君） 議案第 18 号 平成 25 年度白老町立介護老人保健施設事業特別会計予算の議案についてご説明させていただきます。

平成 25 年度の歳入歳出予算の総額は 1 億 1,610 万 8,000 円であり、前年度に比較して 521 万 9,000 円の増額となっております。本年度のきたこぶしの入所者予定数でございますけれども、1 日平均 25 人、平均介護度 3.28 と設定してございます。また、職員数につきましては看護職 5 名、介護スタッフ 8 名、介護支援専門員 1 名、病院との兼務職員として医師、理学療法士各 1 名を配置することと考えてございます。

2 ページ、3 ページの「第 1 表 歳入歳出予算」、5 ページから 7 ページの歳入歳出予算事項別明細書は記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

それでは、歳出からご説明させていただきます。20 ページをお開き願います。1 款総務費、1 項 1 目一般管理費 1 億 34 万 8,000 円で、前年度に比較して 662 万円の増額でございます。本



年度は本年4月からの正職員に係る給与削減実施により給与額が減額となっておりますけれども、3カ年に1度の退職手当組合での精算納付金の支出がございまして、これが主な増額要因となっております。

24 ページでございます。2款サービス事業費、1項1目施設介護サービス事業費 1,540 万 1,000 円で、前年度に比較して 134 万 9,000 円の減額でございます。主な減額要因につきましては、きたこぶしにおきましては後発医薬品、ジェネリック医薬品の利用を勧めてございまして、前年度実績を踏まえまして、需用費の医薬材料費の減額となっております。

26 ページでございます。3款公債費、1項1目利子 25 万 9,000 円で、前年度に比較して 4 万 1,000 円の減でございます。

28 ページでございます。4款予備費、1項1目予備費 10 万円で、前年度に比較して 1 万 1,000 円の減でございます。

31 ページから 37 ページの給与費明細書と、39 ページから 41 ページまでの債務負担行為に関する調書につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

歳入に移りたいと思います。10 ページをお開き願います。1款サービス収入でございますが、冒頭申し上げましたとおり平均入所者数につきましては 25 人、平均介護度 3.28 人として設定しております。1項1目施設介護サービス費 9,811 万 7,000 円で、前年度に比較して 446 万 1,000 円の増でございます。

2項1目自己負担金収入 1,786 万円で、前年度に比較して 77 万 3,000 円の増額でございます。

12 ページでございます。2款1項1目寄附金につきましては科目存置でございます。

14 ページでございます。3款1項1目繰越金につきましても科目存置となっております。

16 ページでございます。4款諸収入、1項1目介護保険受託収入でございますが、主治医意見書作成料を実績見合いで計上しております。

2項1目預金利子につきましても科目存置でございます。

3項1目雑入は 9 万 3,000 円の計上で、臨時職員の雇用保険料本人負担分等でございます。

以上、簡単でございますけれども説明を終了させていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 18 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 18 号の議案説明を終わります。

日程第 11、議案第 19 号 平成 25 年度白老町水道事業会計予算の議案について説明をお願いいたします。

田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 議案第 19 号 平成 25 年度白老町水道事業会計予算についてご説明いたします。

1 ページになりますが、第 2 条に記載の業務予定量につきましては、予算積算の基礎となる

主な項目を記載しております。(1)、給水予定戸数は、前年度実績に近年の減少率を補正して9,535戸を見込んでおります。前年比で107戸の減となっております。(2)、一日平均給水量は、4,916立方メートルで前年並みとしております。(3)、年間総給水量につきましても179万4,204立方メートルで前年並みとしております。(4)、主要な建設改良事業としては、老朽塩ビ管の更新など配水施設改良事業が前年同額の1億301万円の計上、白老浄水場のろ過設備更新など浄水施設整備事業で1億3,183万8,000円を計上しております。

2ページ、第3条の収益的収入及び支出の予定額でございます。収入、第1款水道事業収益は3億4,628万2,000円、支出、第1款水道事業費用は3億918万円でございます。当該年度において利益剰余金は2,812万3,000円が見込まれております。

次に、第4条、資本的収入及び支出の予定額につきましては、第1款資本的収入は1億3,028万5,000円、資本的支出は5億6,634万2,000円で、財源として不足する額4億3,605万7,000円は第4条の本文括弧書きに記載のとおり当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補てんするものでございます。

3ページ、第5条、債務負担行為、第6条、企業債、第7条、一時借入金、第8条、予定支出の各項の経費の金額の流用、第9条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費、第10条、たな卸資産購入限度額は記載のとおりでございます。

続きまして、4ページ、5ページの水道事業会計実施計画、6ページの資金計画、7ページから9ページにかけての給与費明細書、10ページの債務負担行為に関する調書、11ページの平成24年度予定損益計算書、12ページから15ページの平成24年度予定貸借対照表、平成25年度予定貸借対照表については記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

16ページ、水道事業会計予算事項別明細書、(1)、総括についても記載のとおりでありますので説明を省略し、18ページ、(3)、収益的支出からご説明いたします。1款水道事業費用、1項1目給与費については予算額6,898万円、前年比300万円の増となっております。主な理由につきましては、3年に1度の退職手当負担金精算の年度であることから27節負担金が増となったものでございます。

次に、2目原水及び浄水費4,858万2,000円、前年比115万5,000円の増となっております。説明欄、(1)、白老浄水場維持管理経費2,642万5,000円、前年比291万6,000円の減となっておりますが、これは15節委託料で浄水場維持管理業務委託料の減、20節薬品費では浄水場のろ過池更新工事のため、白老浄水場の稼働率を低減させることにより使用する薬品量が減少することによるものでございます。19ページ、(2)、虎杖浜第1浄水場維持管理経費181万6,000円、前年比290万円の減となっております。減額の理由は、前年度実施の排水流量計更新工事が終了したことによるものでございます。(3)、虎杖浜第2浄水場維持管理経費1,260万5,000円、前年比267万7,000円の増となっております。白老浄水場ろ過設備更新工事に伴い不足する浄水量を補うため、第2浄水場の稼働率を高めることから19節動力費及び20節薬品費が増額となるものでございます。(4)、森野取水場維持管理経費773万6,000円、前年比429万4,000円の増となっております。主な理由につきましては老朽化した取水場内の沈砂池の排泥バルブ

及び開閉台の取りかえ修繕に必要な修繕費について増額計上しているものでございます。

20 ページ、3 目配水及び給水費については予算額 3,533 万 3,000 円、前年比 142 万 7,000 円の増となっております。説明欄、(1)、配・給水管の事故復旧に係る経費 1,133 万 9,000 円で、前年比 9 万 4,000 円の減、これは実績に基づいた計上としております。(2)、検満量水器更新に係る経費 1,755 万 9,000 円、前年比 152 万 8,000 円の増となっております。検満工事に係る材料費、工事請負費の水量増によるものでございます。(3)、配水管維持管理に係る経費は前年並みの予算としております。

21 ページ、4 目受託工事費についても前年並みの予算となっております。

5 目総係費 2,046 万 3,000 円、前年比 15 万 4,000 円の増となっております。説明欄、(1)、水道料金調定に係る経費、(2)、水道料金収納に係る経費、22 ページ、(3)、上下水道事業運営審議会経費については前年並みとなっております。(4)、水道料金及び財務会計の電算処理経費は 542 万 3,000 円で、電算委託料の減により前年比 29 万円の減となっております。(5)、水道事業一般経費は 324 万円で、こちらは公用車車検整備手数料及び保険料等の増により前年比 43 万 6,000 円の増となっております。

23 ページ、6 目減価償却費 1 億 83 万 9,000 円、前年比 42 万 4,000 円の増となっております。平成 24 年度末で保有する資産に対して減価償却するもので、内訳は説明欄に記載のとおりでございます。

7 目資産減耗費 570 万 6,000 円、前年比 625 万 2,000 円の減であります。

24 ページ、2 項営業外費用、1 目支払利息及び企業債取扱諸費 2,567 万円、前年比 131 万 3,000 円の減となっております。内訳としては 34 節企業債利息の減であります。既存借入債の低利への借りかえ実施及び低利償還の中での減となっております。

2 目消費税 47 万 3,000 円、前年比 610 万円の減となっております。これについてはろ過設備更新工事に伴い仕入れ税額が増加することによるものでございます。

続いて、3 項特別損失、1 目過年度損益修正損 68 万 4,000 円、前年比 3 万 6,000 円の減となっております。過年度水道料金の不納決算分を見込んで計上しております。

続いて、4 項 1 目予備費については前年同額を計上しております。

17 ページに戻ります。(2)、収益的収入についてご説明をいたします。1 款 1 項 1 目給水収益 3 億 2,948 万 8,000 円、実績を踏まえまして前年度予算額とほぼ同額となっております。

次に、2 目受託工事収益 289 万 1,000 円、前年比 21 万円の減となっております。こちらは給水装置新設件数等の実績を踏まえての減額計上としております。

3 目その他の営業収益 13 万 4,000 円、前年比 1 万 4,000 円の減ですが、こちらも実績を踏まえての減額計上としております。

2 項営業外収益、1 目受取利息及び配当金 11 万 5,000 円、前年比 48 万 5,000 円の減となっております。これは他会計貸付金の利息についてでございますが、減額の計上としております。

2 目雑収益 1,365 万 3,000 円、前年比 75 万円の増となっております。下水道使用料調定受託収入の単価アップに伴っての増額計上としております。

続いて、3項特別利益、1目過年度損益修正益については科目存置のための計上であります。

これで収益的収入支出の説明を終わりました、続けて資本的収入及び支出をご説明いたします。最後の26ページをご覧ください。(5)、資本的支出からご説明いたします。1款資本的支出、1項1目配水施設改良費1億301万円、前年同額となっております。25年度も引き続いて老朽管の更新事業を進めてまいります。実施地区につきましては石山地区、萩野の朝霧地区を予定しており、更新延長は3,980メートルを実施するほか、竹浦地区の配水管網の改良工事も予定しております。

2目浄水施設整備費1億3,183万8,000円、前年比1億2,928万6,000円の増でございますが、これは25、26年度の2カ年で実施予定の白老浄水場の急速ろ過設備の更新に伴う予算を計上しております。

次に、3目有形固定資産購入費2,601万5,000円、前年比469万2,000円の増となっております。新設及び更新等に必要な量水器、さらにはメーター台等の購入費を計上するものでございます。

続いて、2項1目企業債償還金8,547万9,000円、前年比77万3,000円の減となっております。ちなみに24年度末での起債元金の未償還残高は12億8,261万8,000円となっております。

続いて、3項1目長期貸付金2億2,000万円、一般会計に対し財源不足対策として改めて貸付を行うものでございます。

続いて25ページ、(4)、資本的収入についてご説明いたします。1款1項1目企業債1億3,000万円、前年比7,400万円の増となっております。老朽管更新事業及びろ過設備更新事業の財源とするものでございます。

次に、2項1目建設改良補助金28万5,000円、これは前年と同額で計上しておりますが、公共工事実施の中において発生するであろう補償工事分の見込み計上としております。

次に、3項1目他会計長期貸付金償還金、こちらは20年度に一般会計に貸し付けた4億円に係る償還が完了したことから皆減となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（山本浩平君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第19号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。7番、西田・子議員。

○7番（西田・子君） これの会計のことというよりも、むしろこの水道の配水管新設移設工事とか、たしか去年は水道も下水も土木のほうも港のほうからいろいろな工事をしたところの場所とかを、たしか担当の部長が全部工事をしたところの図面をつけてくれていたはずだと思います。今年度ちょっと建設部長がいないのですけれども、できればそういうところの図面をつけていただけるとわかりやすくありがたいと思うのです。今回もこれは配水工事新設移設工事と書いていますけれども、口頭だけでは正直言ってどこの場所かわかりません。そういうことをできればお願いしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○議長（山本浩平君） 田中上下水道課長。

○上下水道課長（田中春光君） 今のお尋ねでございます。うちの工事ばかりではなく、他の土木工事等々を含めての話ということで今お聞きしました。私どものほうで昨年度そのような図面が提示されていた部分を承知していなかったもので、この後図面を提示するような形で整えたいと思います。

○議長（山本浩平君） 7番、西田・子議員、資料要求ということでよろしいですか。予算書にそういった図面をつけているケースは少ないと思うのですが。

7番、西田・子議員。

○議員（西田祐子君） 資料請求ではなくて、むしろ昨年度は最初から、予算をくれた時点で図面も一緒につけてくださったのです。ですから非常に説明を受けてもわかりやすかったという部分があったものですから、そういうふうに申し上げました。

○議長（山本浩平君） 岩城総務財政部長。

○総務財政部長（岩城達己君） 去年のこともありますし、それからまち全体ということで私のほうからお答え申し上げます。昨年、たしかに小さい、コンパクトにして今西田議員がおっしゃるとおり土木道路事業ですとか下水道水道事業、それから港湾も含めた場所、位置図がわかるものを添付させていただきました。今あったのが去年と同様にいただきたいというお話ですので、私のほうから担当部長のほうに話をして早急に資料を用意するようにしたいというふうに思います。

○議長（山本浩平君） ほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第19号の議案説明を終わります。

暫時休憩をいたします。

休憩 午後 2時10分

---

再開 午後 2時20分

○副議長（及川 保君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

山本議長におかれましては所用によりまして欠席となりました。したがって、これからの議事については私、副議長が議長の職務を務めますのでよろしく願いいたします。

日程第12、議案第20号 平成25年度白老町立国民健康保険病院事業会計予算の議案について説明をお願いいたします。

野宮病院事務次長。

○病院事務次長（野宮淳史君） 議案第20号 平成25年度白老町立国民健康保険病院事業会計予算についてご説明させていただきます。

1ページ、第2条の業務予定量の年間患者数及び一日平均患者数につきましては前年度の患者数決算見込み等をもとに設定しており、入院は年間1万950人で前年度比較1,460人の減、外来は3万3,565人で前年度比較1,571人の減となっており、一日平均患者数は入院が30人で

前年度比較4人の減、外来は137人で前年度比較7人の減となっております。

第3条の収益的収入及び支出の予定額でございます。詳細の説明につきましては後ほど事項別明細書等により説明させていただきます。入院事業収益は9億9,049万4,000円、病院事業費用は9億1,153万9,000円でございます。

2ページでございます。第4条の資本的収入及び支出の予定額につきましては資本的収入が1,598万4,000円、資本的支出は9,098万4,000円であり、財源として不足する額7,500万円につきましては本文括弧書き中に記載のとおり、当年度分損益勘定留保資金で補てんするものでございます。

第5条、債務負担行為から3ページの第9条、たな卸資産購入限度額までは記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

4ページ、5ページの予算実施計画書、6ページの資金計画書、7ページから11ページの給与費明細書、12ページの債務負担行為に関する調書、13ページの24年度予定損益計算書、14ページ、15ページの24年度予定貸借対照表、16ページ、17ページ、25年度予定貸借対照表につきましては記載のとおりでございますので説明を省略させていただきます。

18ページをお開きいただきたいと思っております。病院事業会計予算事項別明細書になってございます。この表につきましては総括表でございますので説明を省略させていただきます。

それでは、20ページの収益的支出から先に説明をさせていただきます。1款病院事業費用、1項1目給与費につきましては予算額5億1,336万3,000円であり、本年4月からの正職員に係る給与削減実施により給与額の減額となっておりますけれども、3年に1度の退職手当組合への精算納付金の支出がございまして、前年度比較194万7,000円の減額となっております。部門別の内訳でございますけれども、(1)、事務部門につきましては正職員2名、嘱託職員3名及び臨時職員1名分の人件費を見込んでございます。(2)、医局部門につきましては内科3名、外科1名の医師4名を見込んでございます。21ページ、(3)、看護部門につきましては24年度に2名の途中退職がございまして、退職者補充分を含めた看護師及び臨時看護師、病棟等の看護補助者等の賃金を見込んでございます。(4)、薬局部門につきましては嘱託薬剤師2名分を見込んでございます。22ページから23ページでございます。(5)、検査部門、(6)、放射線部門、(7)、栄養部門、(8)、機能訓練部門の診療技術局の職員につきましては前年同様6名分の人件費を見込んでございます。

24ページでございます。2目材料費につきましては予算額が9,001万2,000円、対前年度比較346万3,000円の増額でございます。(2)、薬局部門につきましてはこれまで健康福祉課で購入していました小児科の予防接種ワクチンを町立病院で購入しまして、それを渡すことになったため薬品費が増額となっております。また、購入代金につきましては収入として計上してございます。(1)、看護部門、(3)、検査部門、(4)、放射線部門、(5)、栄養部門の各部門につきましては実績見合いで計上してございます。

続きまして25ページでございます。3目経費につきましては予算額が2億9,165万1,000円、対前年度比較662万1,000円の減でございます。説明欄の事務部門につきましては予算額

が5,775万5,000円であり、委託料の減少によりまして対前年対比649万9,000円の減額でございます。26ページでございます。(2)、医局部門につきましては予算額8,623万3,000円であり、医師の謝礼金、報償費等の減少により前年度比較288万1,000円の減額でございます。27ページから29ページでございます。(3)、看護部門につきましては予算額1,204万8,000円であり、委託料及び消耗備品費等の減少により前年度比較23万2,000円の減額でございます。(4)、薬局部門につきましては予算額50万2,000円であり、前年度実績見合いで計上しておりまして前年度比較17万1,000円の減額でございます。28ページ、(5)、検査部門につきましては予算額2,567万5,000円であり、臨床検査の業務委託料の増加によりまして前年度比較76万4,000円の増額でございます。(6)、放射線部門につきましては予算額1,424万1,000円であり、委託料及び賃借料の増加に伴いまして前年度比較277万2,000円の増額でございます。(7)、栄養部門につきましては予算額3,464万6,000円でございます、厨房用の消耗品及び厨房用の施設修繕が一部終了しましたので、その減少に伴いまして対前年度比較120万6,000円の減額でございます。29ページから30ページでございます。(8)、機能訓練部門につきましては前年同様の予算額29万8,000円を計上してございます。(9)、施設部門につきましては予算額6,025万3,000円であり、前年度実績見合いにより計上してございますが、燃料費及び修繕費の増加等によりまして対前年度比較88万2,000円の増額でございます。

続きまして31ページでございます。4目減価償却につきましては予算額1,018万円であり、対前年度比較84万9,000円の減でございます。平成24年度末で保有する資産に対して減価償却をするものでございます。

5目資産減耗費につきましては予算額34万3,000円であり、対前年度比較2,000円の減額でございます。

6目研究研修費につきましては予算額178万5,000円であり、対前年度比較3万4,000円の増額でございます。こちらにつきましても前年度の実績見合いで計上してございまして、医師の学会出席、並びに看護師と医療スタッフの医療技術研修経費が若干増額となっております。

続きまして、2項医業外費用でございますが予算額404万9,000円であり、対前年度比較215万2,000円の減額でございます。

1項支払利息及び企業債取扱諸費につきましては予算額290万3,000円でありまして、対前年度比較23万円の減でございます。48節の企業債利息につきましては低利率の借入れ先の借りかえ実施による利息の減により前年度比較238万円の減額でございます。

2項雑損失につきましては前年度と同額の2万円の予算計上となっております。

3項消費税につきましては予算額112万6,000円で、対前年度比較22万8,000円の増額でございます。

3項特別損失、1目過年度損益修正損につきましては前年度と同額の5万6,000円の予算計上となっております。

4項1目予備費につきましては前年度と同額の10万円を予算計上してございます。

これで支出の説明を終わりにして、19ページの収益的収入に入りたいと思います。それでは、

19 ページの収益的収入についてご説明いたします。1 款病院事業収益、1 目医業収益につきましては 5 億 3,457 万 5,000 円で、対前年度比較 8,238 万 6,000 円の減額となっております。冒頭に業務の予定量についてご説明いたしましたけれども、前年度の入院外来患者数、並びに 1 日 1 人当たり医療費による決算見込み額等をもとに計上してございまして、1 目入院収益、2 目外来収益ともに前年度と比較しまして減額となっております。

2 目医業外収益につきましては 3 億 1,091 万 8,000 円で、対前年度比較 502 万 3,000 円の増となっております。

2 目他会計補助金に一般会計からの繰入金 2 億 9,207 万 5,000 円を計上してございます。

1 目受取利息配当金、3 目患者外給食収益、4 目その他医業外収益につきましては前年度実績により予算計上してございます。

3 目の特別利益につきましては 1 億 4,500 万 1,000 円で、対前年度比較 7,000 万円の増額でございます。公立病院の特例債の元金償還分として 7,500 万円の繰入金を計上していただきます。また、きのう一般会計等でご説明いたしましたけれども、公立病院の改革案の健全化対策のための地方財政法施行令に基づく資金不足解消分として 7,000 万円の繰入金を増額計上させていただいております。これからご説明いたします資本的収入の繰上金を合わせますと、一般会計の繰上金の差額でございますけれども 4 億 5,305 万 9,000 円であり、対前年度比較 7,501 万円の増となっております。

これで収益的収入と支出の説明を終わります。

次に、32 ページをお開き願います。1 款資本的収入、1 項 1 目出資金につきましては予算額 1,598 万 4,000 円で、対前年度比較 5 万 3,000 円の増でございます。これは一般会計からの繰入金でございます。

1 款資本的支出、1 項 1 目企業債償還金につきましては予算額 9,098 万 4,000 円で、対前年度比較 5 万 3,000 円でございます。資本的収入と資本的支出の不足する額 7,500 万円につきましては、19 ページでご説明させていただきました特別利益に計上してございます公立病院特例債元金償還金分繰入金 7,500 万円を補てん財源として充て、償還するものでございます。

以上で病院事業の会計の予算説明を終わらせていただきます。

○副議長（及川 保君） 議案の説明が終わりました。

これより議案第 20 号の議案に関して質疑を許します。特に聞いておく必要のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（及川 保君） 質疑なしと認めます。

これをもって議案第 20 号の議案説明を終わります。

---

### ◎閉会の宣告

○副議長（及川 保君） 以上をもって定例会 3 月会議の議案説明は全て終了いたしました。

これをもちまして議案説明会を終了いたします。

（午後 2 時 3 6 分）